

調査結果の概要

1 平成28年の概況

～ 生産・出荷・在庫指数ともに前年より上昇 ～

- 鉱工業指数は、生産・出荷・在庫ともに前年を上回った（生産 110.1〔前年比 1.3%上昇〕、出荷 107.6〔前年比 1.8%上昇〕、在庫 119.5〔前年比 11.9%上昇〕）。

～四半期別（季節調整済指数）でみると～

- 生産指数は、平成28年Ⅰ期は前期を上回り、平成28年Ⅱ期は2期ぶりに前期を下回ったが、平成28年Ⅲ期～Ⅳ期は2期連続で前期を上回った。
- 出荷指数は、平成28年Ⅰ期に5期ぶりに前期を下回ったものの、平成28年Ⅱ期～Ⅳ期は3期連続で前期を上回った。
- 在庫指数は、平成28年Ⅰ期とⅢ期は前期を上回ったが、平成28年Ⅱ期とⅣ期は前期を下回った。

(1) 生産

- ・ 生産指数は、110.1(前年比 1.3%上昇)。5年連続で前年を上回った(図1)。
- ・ 業種別にみると、電子部品・デバイス工業、輸送機械工業、一般機械工業（総合）など8業種で上昇し、電気・情報通信機械工業、プラスチック製品工業、食料品・たばこ工業など10業種で低下した(図2)。

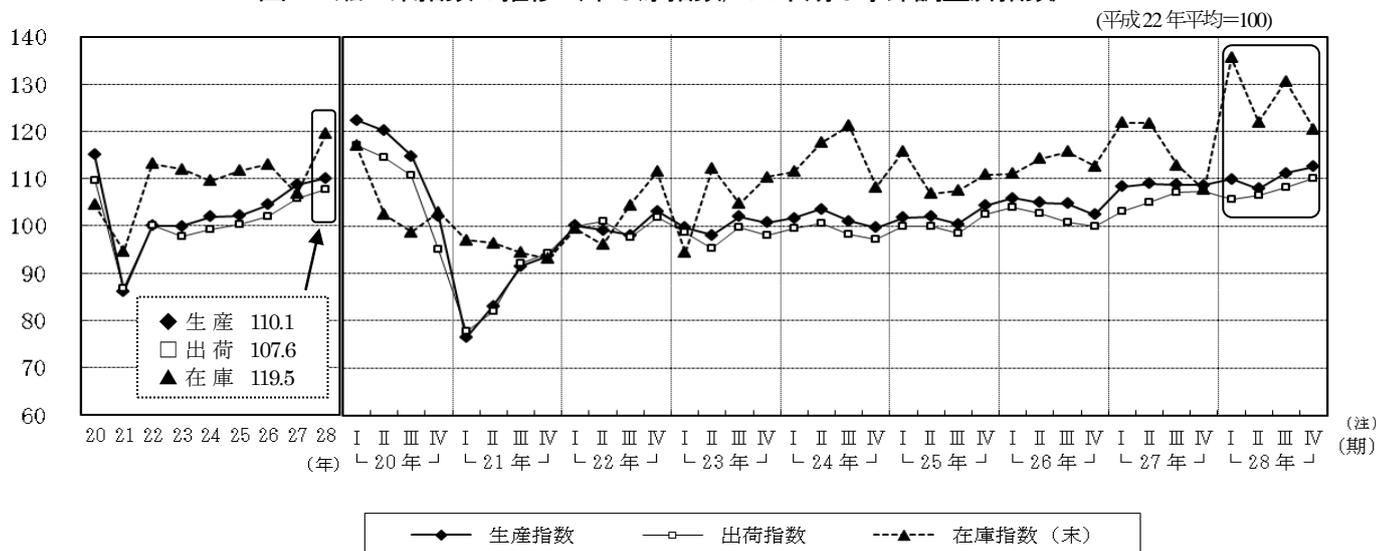
(2) 出荷

- ・ 出荷指数は、107.6(前年比 1.8%上昇)。5年連続で前年を上回った(図1)。
- ・ 業種別にみると、電子部品・デバイス工業、輸送機械工業、鉄鋼業など10業種で上昇し、電気・情報通信機械工業、繊維工業、食料品・たばこ工業など8業種で低下した。

(3) 在庫（期末）

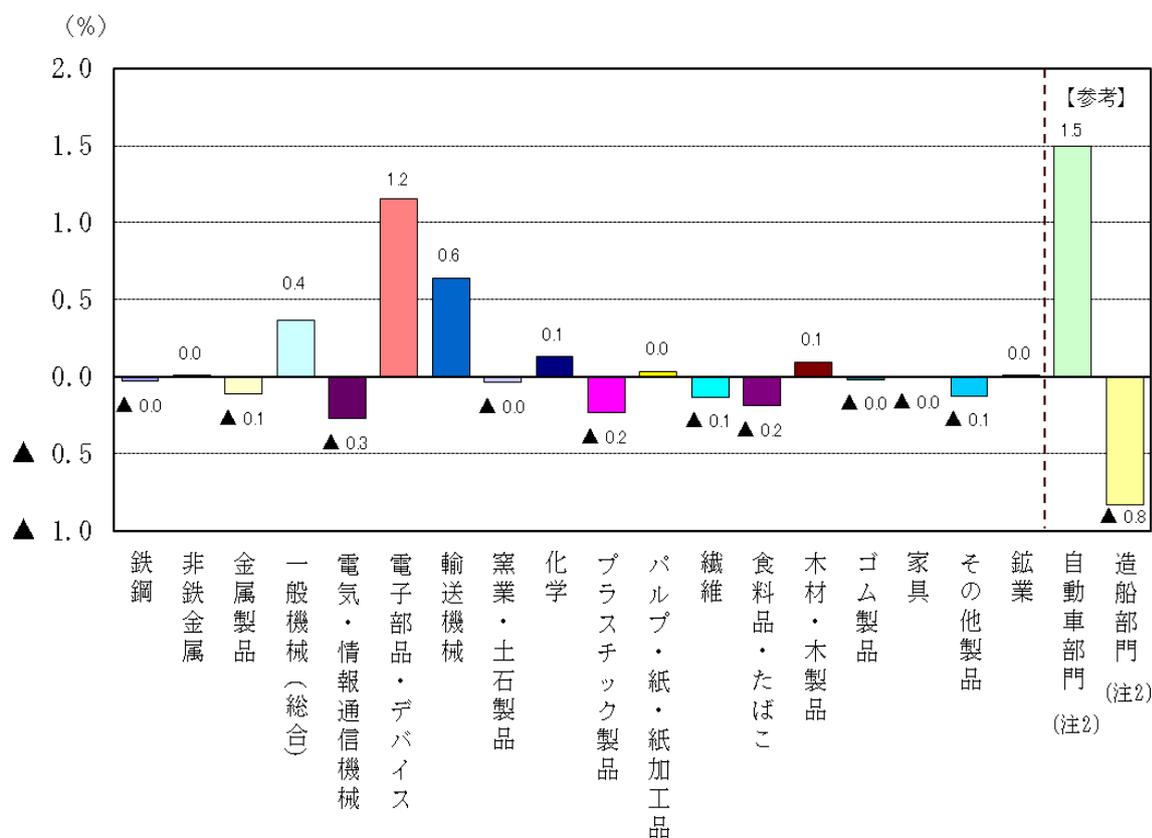
- ・ 在庫指数(期末在庫)は、119.5(前年比 11.9%上昇)。2年ぶりに前年を上回った(図1)。
- ・ 業種別にみると、輸送機械工業、鉄鋼業、その他製品工業など9業種で上昇し、鉱業で横ばい、電気機械工業（総合）、非鉄金属工業、窯業・土石製品工業など7業種で低下した。

図1 鉱工業指数の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）



(注) Ⅰ期：1～3月，Ⅱ期：4～6月，Ⅲ期：7～9月，Ⅳ期：10～12月

図2 平成28年における生産指数の前年比に対する業種別寄与度^(注1)



(注1) 寄与度とは、指数全体の上昇・低下に対し、各業種の上昇・低下が、どの程度影響を与えているかを示したものの。

(注2) 「自動車部門」：輸送機械工業18品目のうち、小型自動車など自動車関連12品目と、電気・情報通信機械工業の自動車用電気照明器具の合計。

「造船部門」：輸送機械工業のうち、船用ディーゼル機関など造船関係5品目の合計。

2 生産の業種別動向（寄与度順）

(1) 前年比が上昇した主な業種

上昇した主な業種	前年比	寄与度	上昇した主な品目
電子部品・デバイス工業	19.5%	1.2%	半導体集積回路, 混成集積回路
輸送機械工業	1.7%	0.6%	ガソリンエンジン, 普通自動車, 船用蒸気タービン
一般機械工業(総合)	2.2%	0.4%	ポンプ, ボイラの部品, 印刷機械

(2) 前年比が低下した主な業種

低下した主な業種	前年比	寄与度	低下した主な品目
電気・情報通信機械工業	▲5.4%	▲0.3%	携帯電話, 低圧遮断器, 一般用エンジン発電機
プラスチック製品工業	▲3.8%	▲0.2%	容器, 光学フィルム, 機械器具部品
食料品・たばこ工業	▲6.1%	▲0.2%	乳飲料, 海藻加工品, 清涼嗜好飲料

3 関連業種別生産指数の推移

機械関連業種は3年連続の上昇、素材関連業種は3年連続の低下

業種別の生産指数を、機械関連業種、素材関連業種、生活関連業種の3関連業種に分けて分析すると^(注)、平成28年は、機械関連業種は3年連続の上昇、素材関連業種は3年連続の低下、生活関連業種は2年ぶりの低下である(図3、4)。

図3 生産指数の前年比の推移

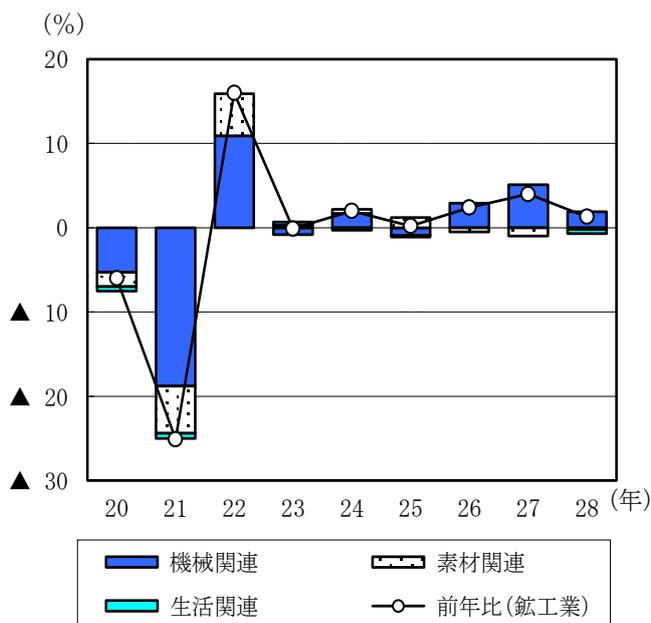
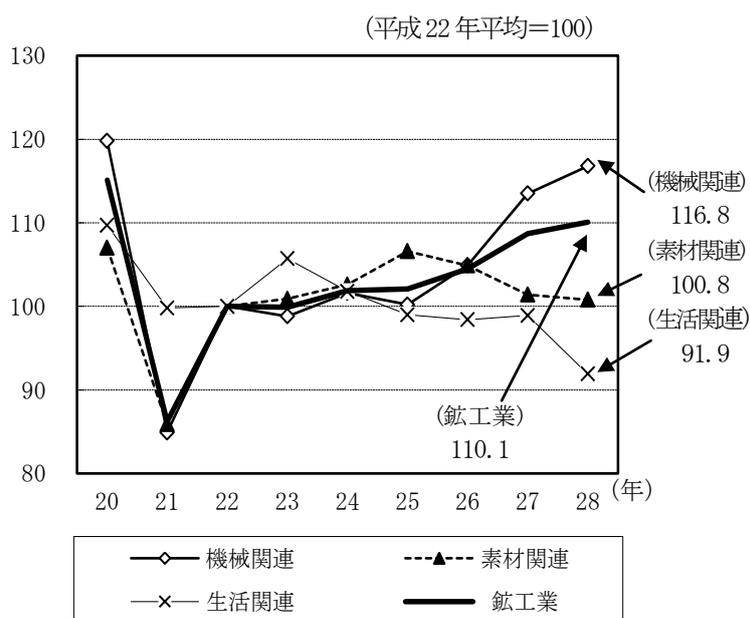


図4 関連業種別生産指数の推移



(注) 各関連業種の分類は、次のとおりとした。

機械関連業種：一般機械工業(総合)、電気・情報通信機械工業、電子部品・デバイス工業、輸送機械工業の4業種

素材関連業種：鉄鋼業、非鉄金属工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業、化学工業、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、木材・木製品工業、ゴム製品工業の9業種

生活関連業種：繊維工業、食料品・たばこ工業、家具工業、その他製品工業の4業種

(1) 機械関連業種の生産指数の推移

機械関連業種の生産指数は、平成28年Ⅱ期以外はプラスで推移

機械関連業種の生産指数は、平成28年Ⅰ期～Ⅱ期においては、電子部品・デバイス工業が上昇したものの、一般機械工業(総合)が低下に寄与し、Ⅰ期は前年同期を上回ったが、Ⅱ期は平成26年Ⅳ期から6期ぶりに前年同期を下回った。平成28年Ⅲ期～Ⅳ期においては、電気・情報通信機械工業が低下したものの、一般機械工業(総合)が上昇に寄与し、2期連続で前年同期を上回った(図5)。

図5 生産指数（機械関連業種）の前年同期比の推移及び業種別寄与度



① 一般機械工業（総合）

一般機械工業（総合）は、119.0（前年比 2.2%上昇）。ショベル系掘削機、工業用長さ計などが低下したものの、ポンプ、ボイラの部品などが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、平成27年Ⅲ期から平成28年Ⅱ期までは4期連続で前年同期を下回ったが、平成28年Ⅲ期に5期ぶりにプラスに転じ、平成28年Ⅳ期も前年同期を上回った。

② 電気・情報通信機械工業

電気・情報通信機械工業は、88.0（前年比 ▲5.4%低下）。電気計器、開閉制御装置などが上昇したものの、携帯電話、低圧遮断器などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成26年Ⅰ期から平成28年Ⅰ期までは9期連続で前年同期を上回ったが、平成28年Ⅱ期に10期ぶりにマイナスに転じ、平成28年Ⅳ期まで3期連続で前年同期を下回った。

③ 電子部品・デバイス工業

電子部品・デバイス工業は、120.8（前年比 19.5%上昇）。モス型半導体集積回路（CCD）、液晶用カラーフィルターなどが低下したものの、半導体集積回路、混成集積回路が上昇に寄与した。四半期ごとにみると、平成26年Ⅱ期から平成28年Ⅲ期までは10期連続で前年同期を上回ったが、平成28年Ⅳ期に11期ぶりにマイナスに転じた。

④ 輸送機械工業

輸送機械工業は、120.0（前年比 1.7%上昇）。鋼船新造、ディーゼルエンジンなどが低下したものの、ガソリンエンジン、普通自動車などが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、平成27年Ⅰ期から平成28年Ⅰ期までは5期連続で前年同期を上回り、平成28年Ⅱ期～Ⅲ期は2期連続で前年同期を下回ったが、平成28年Ⅳ期は3期ぶりにプラスに転じた。

【参考】自動車部門

自動車部門は、132.7（前年比 4.9%上昇）。ディーゼルエンジン、トラックシャーシなどが低下したものの、ガソリンエンジン、普通自動車などが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、平成28年は全期で前年同期を上回り、平成27年Ⅰ期以降8期連続で前年同期を上回った。

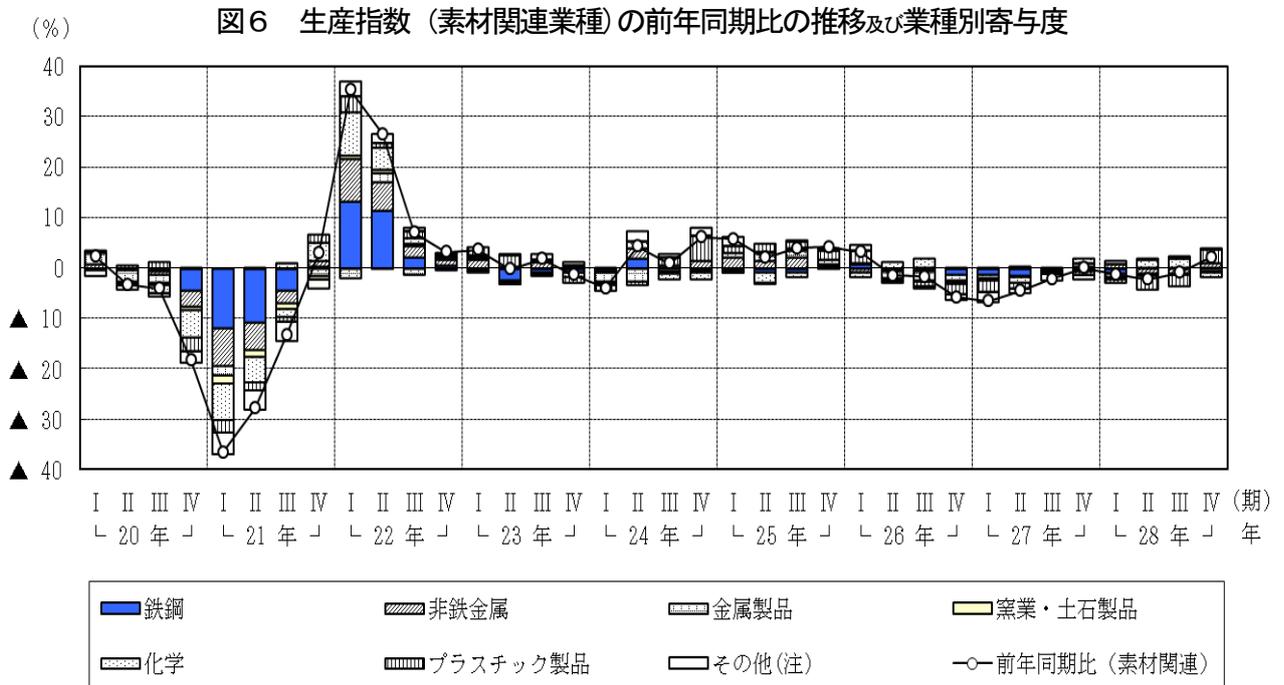
【参考】造船部門

造船部門は、83.5(前年比 ▲11.1%低下)。船用蒸気タービンが上昇したものの、鋼船新造、鋼船修理などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成28年I期に平成26年I期から8期ぶりにマイナスに転じ、平成28年は全期で前年同期を下回った。

(2) 素材関連業種の生産指数の推移

素材関連業種の生産指数は、平成28年IV期にプラスに転じる

素材関連業種の生産指数は、平成28年I期～III期においては、プラスチック製品工業、金属製品工業などが低下に寄与し、前年同期を下回ったが、平成28年IV期においては、プラスチック製品工業、非鉄金属工業などが上昇に寄与し、平成26年I期から11期ぶりにプラスに転じた(図6)。



① 鉄鋼業

鉄鋼業の生産指数は、91.9(前年比 ▲0.4%低下)。鋼半製品、粗鋼などが上昇したものの、鉄鉄鋳物、亜鉛めっき鋼板などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成28年I期は平成27年III期から2期ぶりに前年同期を下回ったが、平成28年II期～IV期は3期連続で前年同期を上回った。

② 非鉄金属工業

非鉄金属工業の生産指数は、120.3(前年比 0.1%上昇)。アルミニウム鋳物、銅線などが低下したものの、アルミニウムダイカスト、電気金などが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、平成28年I期は平成27年III期から2期ぶりに前年同期を上回った。平成28年II期～III期は2期連続で前年同期を下回ったが、平成28年IV期は3期ぶりにプラスに転じた。

③ 金属製品工業

金属製品工業は、72.5(前年比 ▲6.5%低下)。水門(水門巻上機を含む)、やすりなどが上昇したものの、飲料用アルミニウム缶、橋りょうなどが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成28年Ⅰ期に平成27年Ⅲ期から2期ぶりにマイナスに転じ、平成28年は全期で前年同期を下回った。

④ 窯業・土石製品工業

窯業・土石製品工業は、91.0(前年比 ▲2.9%低下)。生コンクリート、耐火れんがなどが上昇したものの、研削砥石、石灰などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成28年は全期で前年同期を下回り、平成26年Ⅲ期以降10期連続で前年同期を下回った。

⑤ 化学工業

化学工業は、102.0(前年比 3.1%上昇)。環境保全用触媒、アクリロニトリルなどが低下したものの、医薬品、ポリスチレンなどが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、平成28年Ⅰ期は平成27年Ⅲ期から2期ぶりに前年同期を下回ったが、平成28年Ⅱ期～Ⅲ期は2期連続で前年同期を上回った。平成28年Ⅳ期は3期ぶりにマイナスに転じた。

⑥ プラスチック製品工業

プラスチック製品工業は、106.9(前年比 ▲3.8%低下)。フィルム、日用品・雑貨などが上昇したものの、容器、光学フィルムなどが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成26年Ⅱ期から平成28年Ⅲ期までは10期連続で前年同期を下回ったが、平成28年Ⅳ期に11期ぶりにプラスに転じた。

⑦ パルプ・紙・紙加工品工業

パルプ・紙・紙加工品工業は、82.6(前年比 4.0%上昇)。非塗工・特殊印刷用紙、紙器用板紙が低下したものの、情報用紙、包装用紙などが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、平成28年Ⅰ期に平成26年Ⅲ期から6期ぶりにプラスに転じ、平成28年Ⅱ期は前年同期を下回ったものの、平成28年Ⅲ期～Ⅳ期は2期連続で前年同期を上回った。

⑧ 木材・木製品工業

木材・木製品工業は、121.7(前年比 6.8%上昇)。パーティクルボードが低下したものの、製材品、特殊合板が上昇に寄与した。四半期ごとにみると、平成28年Ⅰ期に平成26年Ⅰ期から8期ぶりにプラスに転じ、平成28年は全期で前年同期を上回った。

⑨ ゴム製品工業

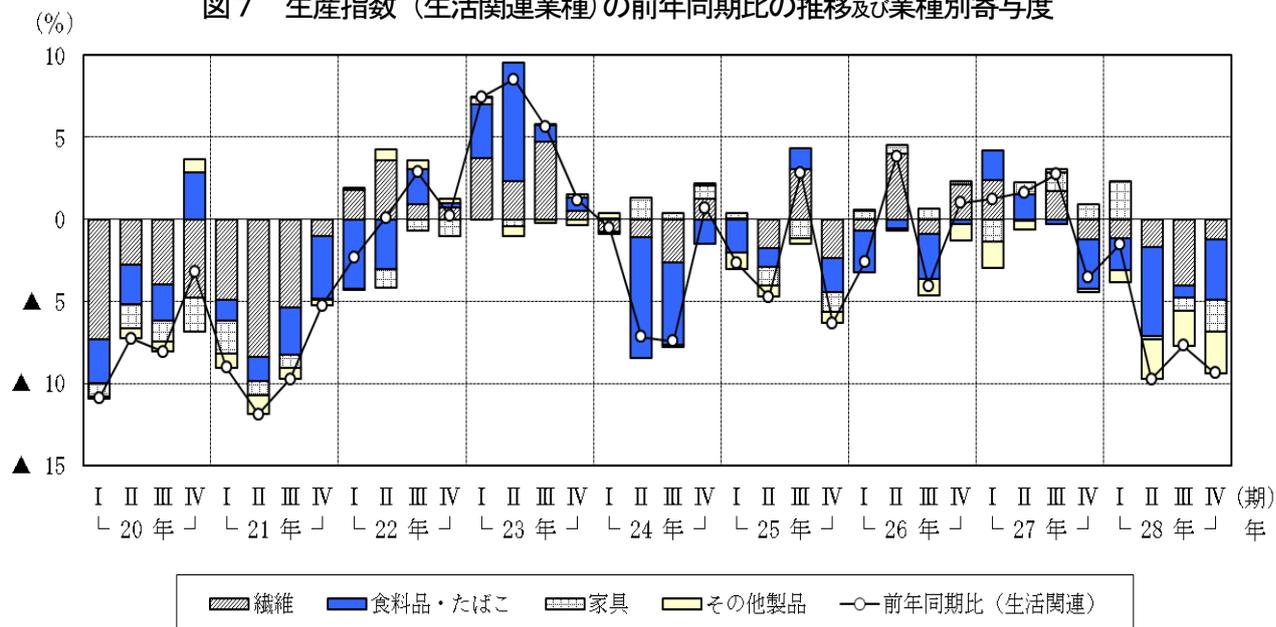
ゴム製品工業は、112.3(前年比 ▲1.3%低下)。運動競技用品ゴム製品が上昇したものの、タイヤ、その他ゴム製品などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成28年Ⅰ期とⅢ期は前年同期を上回り、平成28年Ⅱ期とⅣ期は前年同期を下回った。

(3) 生活関連業種の生産指数の推移

生活関連業種の生産指数は、平成28年は全期でマイナス

生活関連業種の生産指数は、平成28年は家具工業以外の全業種が全期マイナスで推移したため、全期で前年同期を下回り、平成27年Ⅳ期以降5期連続で前年同期を下回った(図7)。

図7 生産指数(生活関連業種)の前年同期比の推移及び業種別寄与度



① 繊維工業

繊維工業は、104.4(前年比 ▲5.9%低下)。再生・半合成繊維短繊維、染色整理などが上昇したものの、綿織物、化学合成繊維などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成28年は全期で前年同期を下回り、平成27年Ⅳ期以降5期連続で前年同期を下回った。

② 食料品・たばこ工業

食料品・たばこ工業の生産指数は、87.8(前年比 ▲6.1%低下)。しょうゆ、飲用牛乳などが上昇したものの、乳飲料、海藻加工品などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成28年は全期で前年同期を下回り、平成27年Ⅲ期以降6期連続で前年同期を下回った。

③ 家具工業

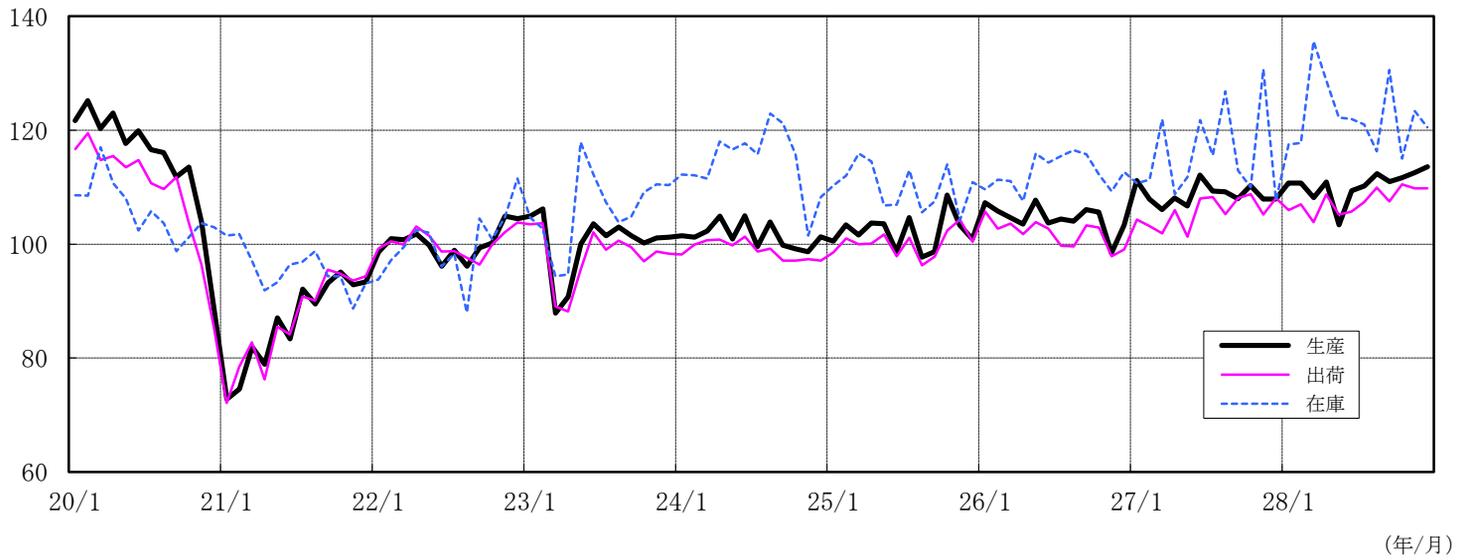
家具工業は、107.2(前年比 ▲1.6%低下)。木製ベッド、木製いすなどが上昇したものの、その他の木製家具、木製机・テーブルなどが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成27年Ⅱ期から平成28年Ⅰ期までは4期連続で前年同期を上回ったが、平成28年Ⅱ期に5期ぶりにマイナスに転じ、平成28年Ⅳ期まで3期連続で前年同期を下回った。

④ その他製品工業

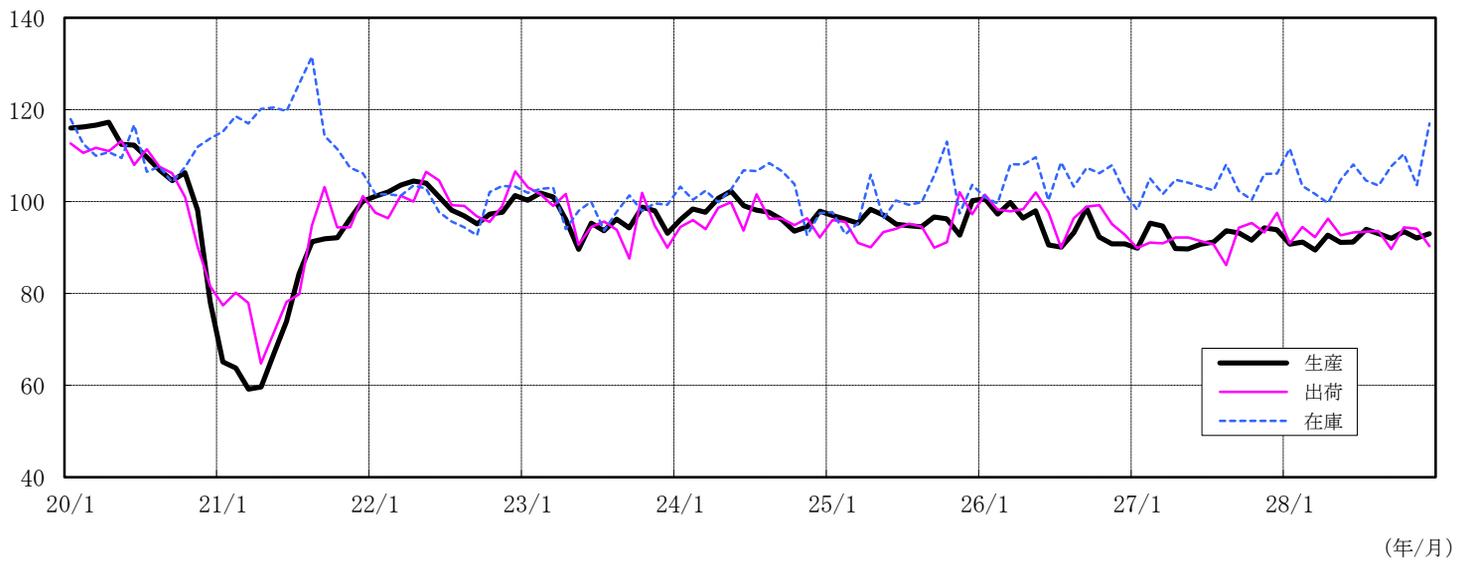
その他製品工業は、62.8(前年比 ▲23.0%低下)。平版印刷(オフセット印刷)、毛筆などすべての品目が低下した。四半期ごとにみると、平成28年は全期で前年同期を下回り、平成27年Ⅳ期以降5期連続で前年同期を下回った。

4 業種別季節調整済指数の推移（平成22年平均＝100）

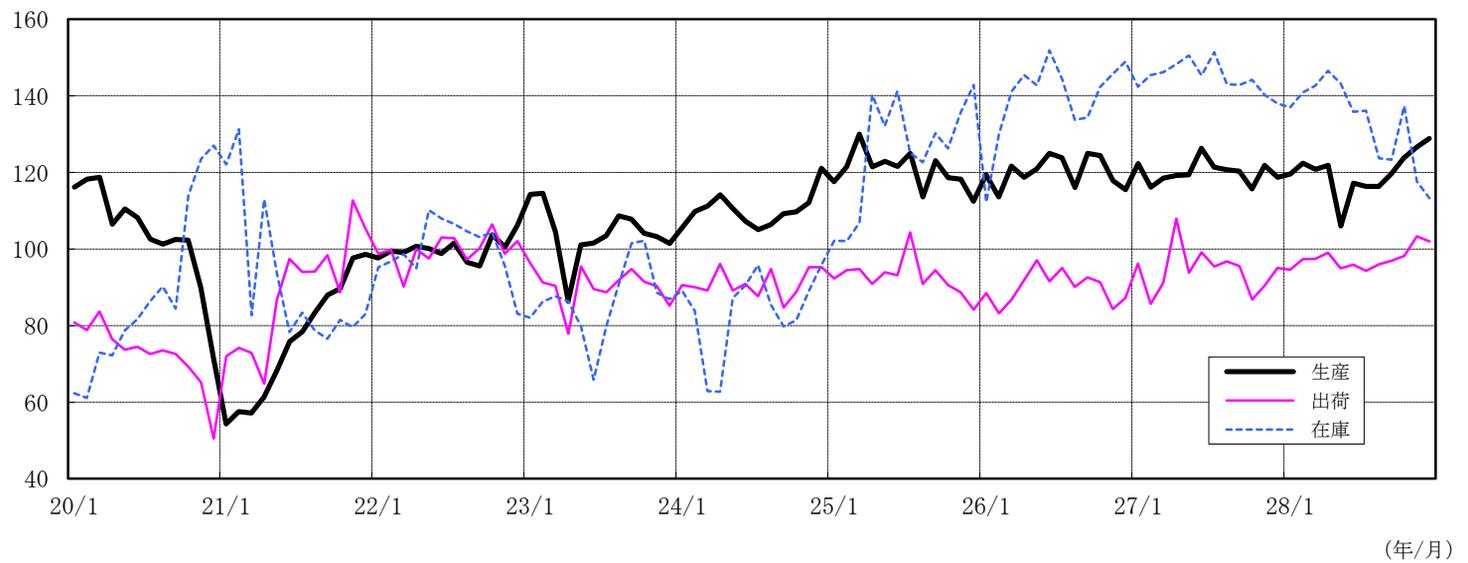
鋳工業（付加価値額ウェイト＝10000.0）



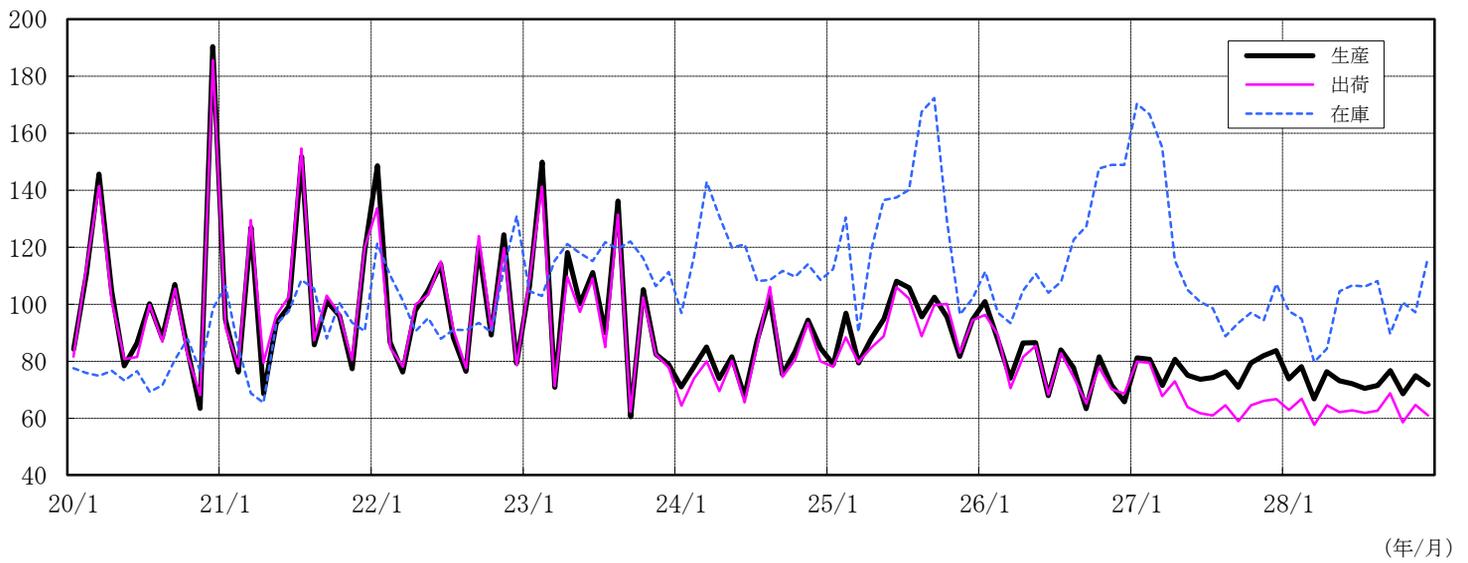
鉄鋼業（付加価値額ウェイト＝778.5）



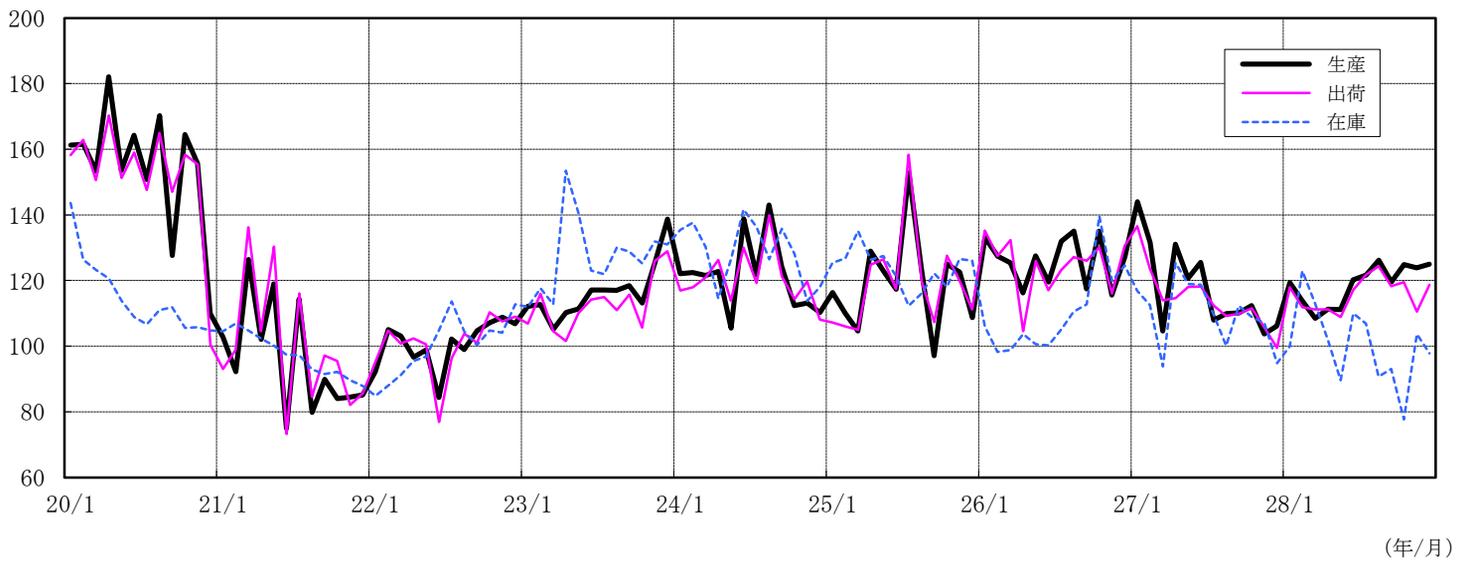
非鉄金属工業（付加価値額ウェイト＝454.1）



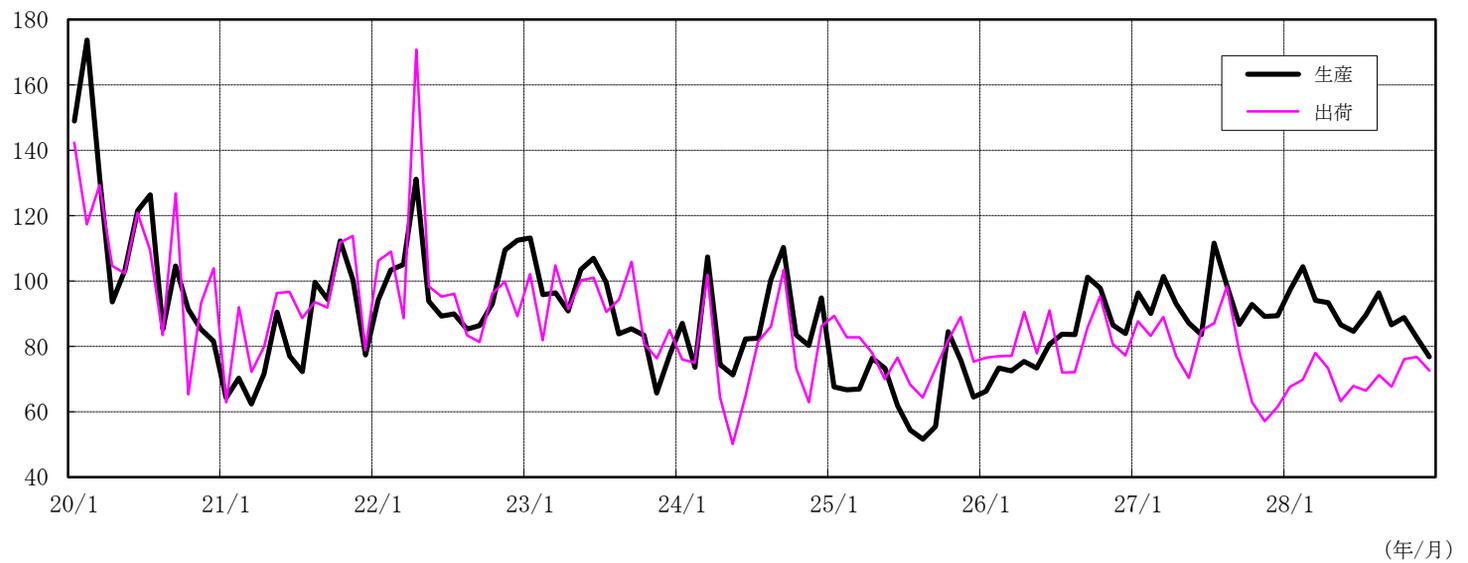
金属製品工業（付加価値額ウェイト＝241.6）



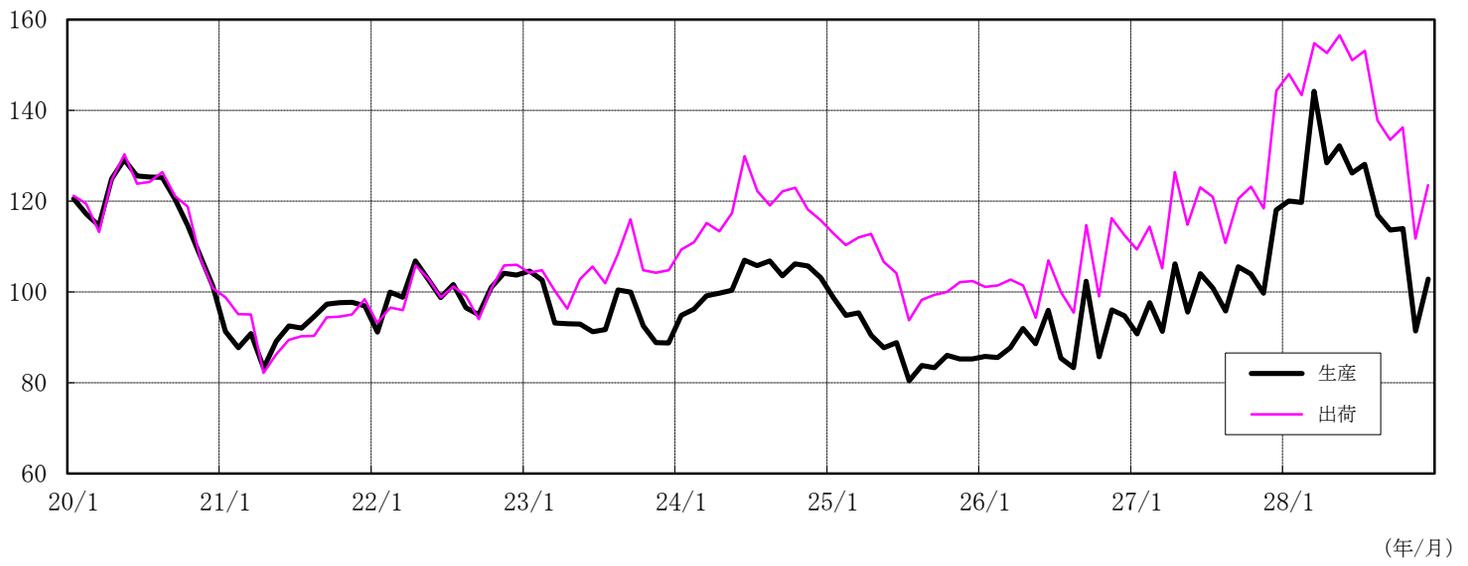
一般機械工業（総合）（付加価値額ウェイト＝1526.6）



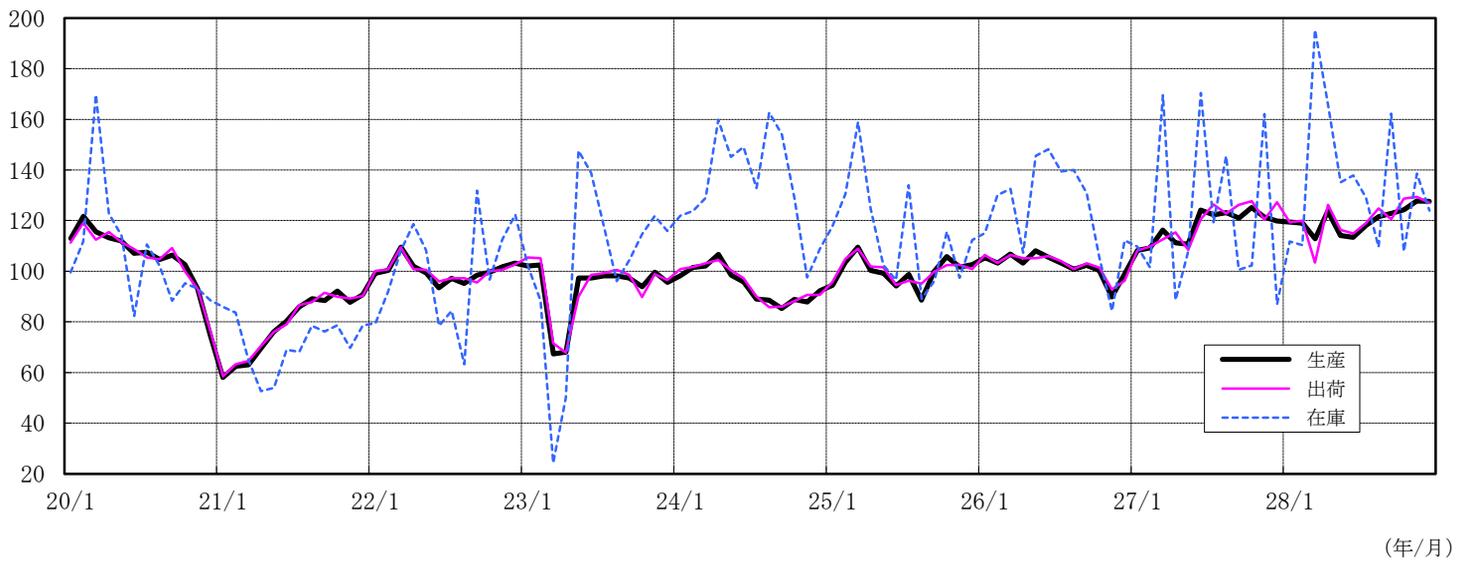
電気・情報通信機械工業（付加価値額ウェイト＝589.9）



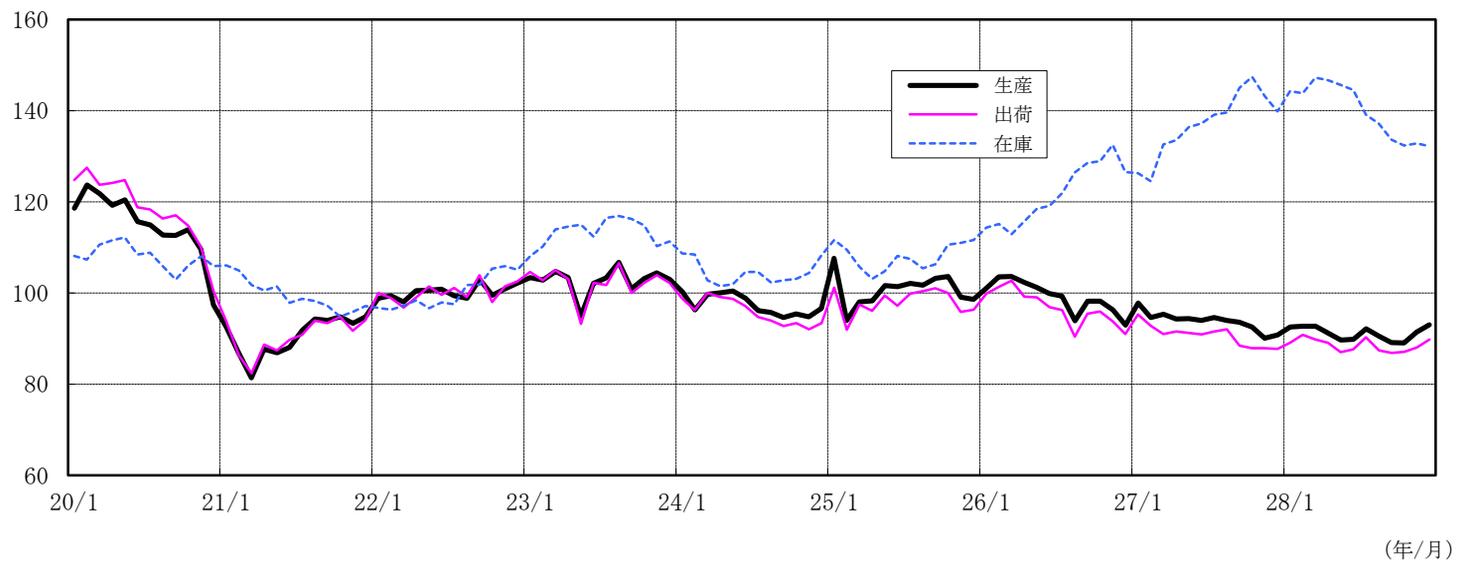
電子部品・デバイス工業（付加価値額ウェイト=635.9）



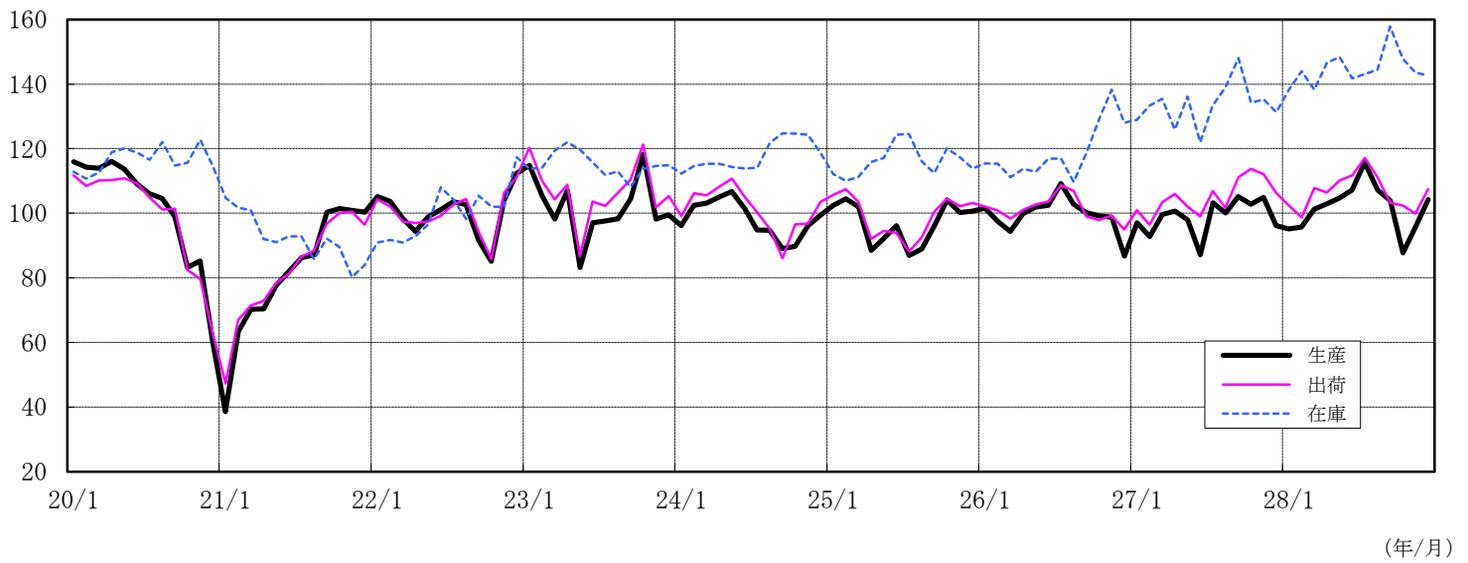
輸送機械工業（付加価値額ウェイト=3467.7）



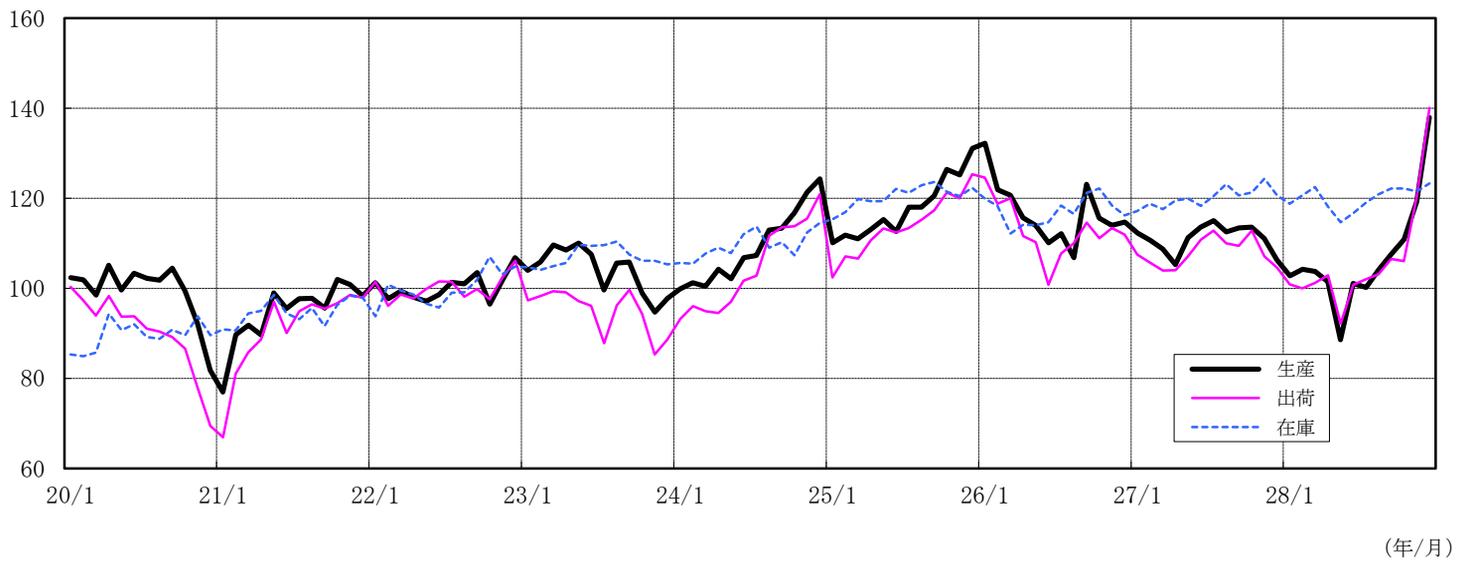
窯業・土石製品工業（付加価値額ウェイト=157.0）



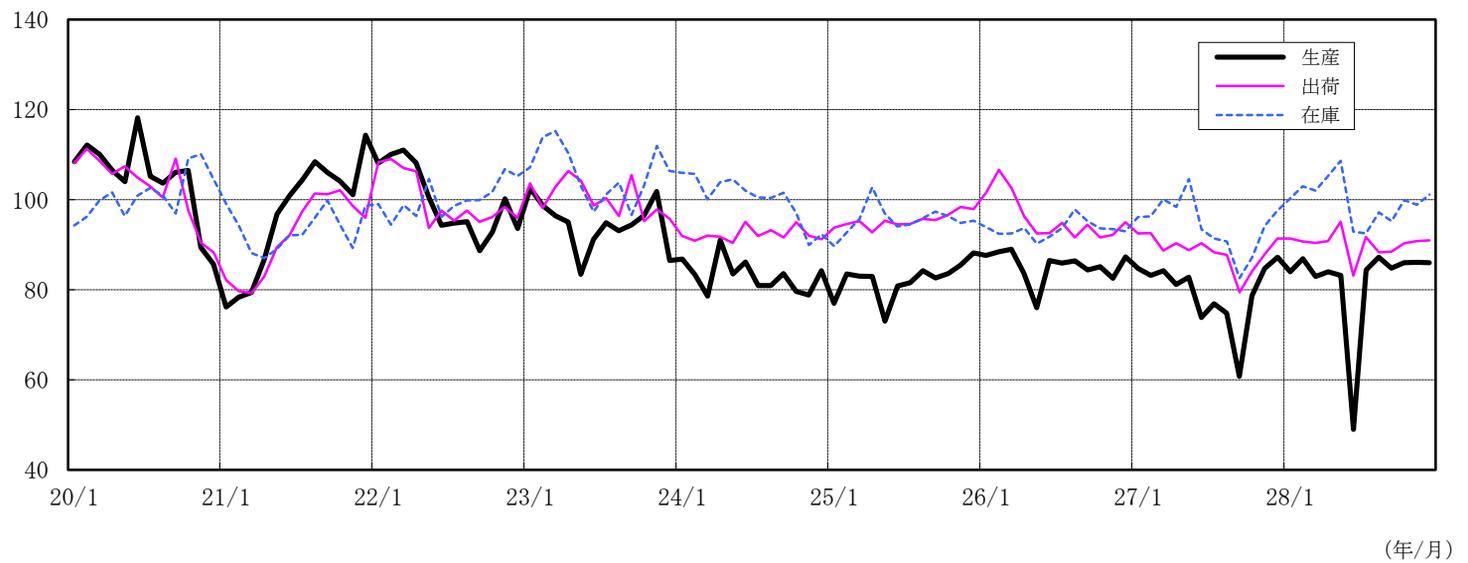
化学工業（付加価値額ウェイト=447.1）



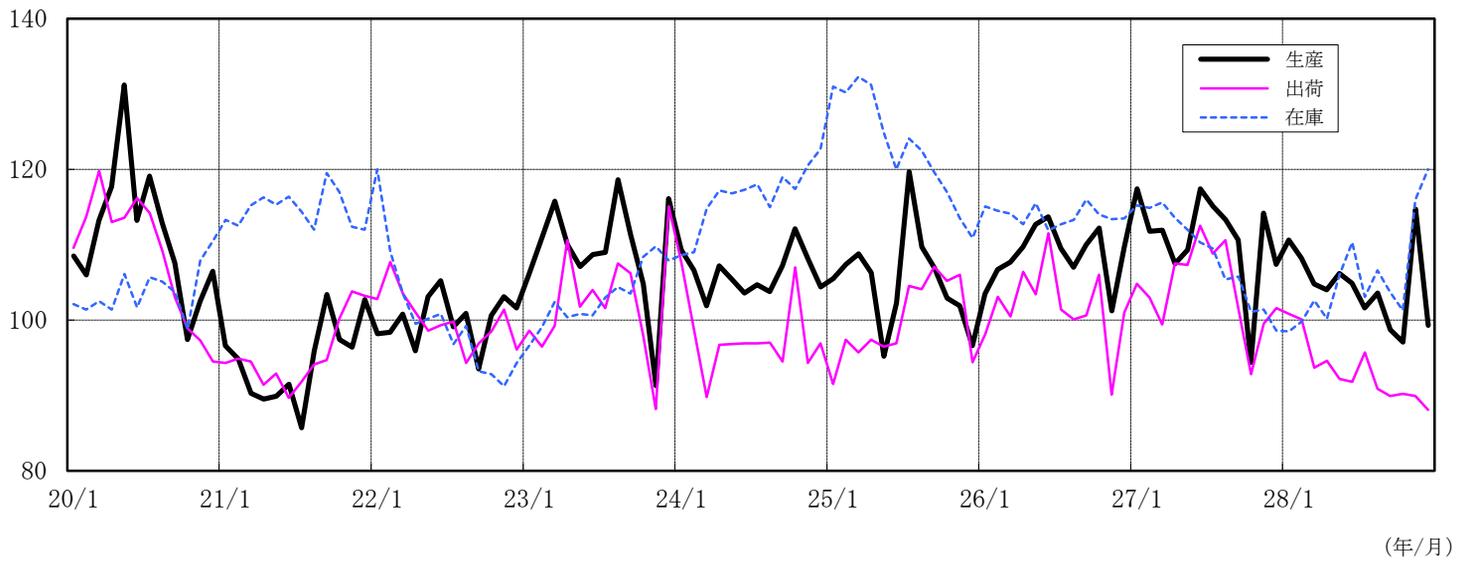
プラスチック製品工業（付加価値額ウェイト=604.6）



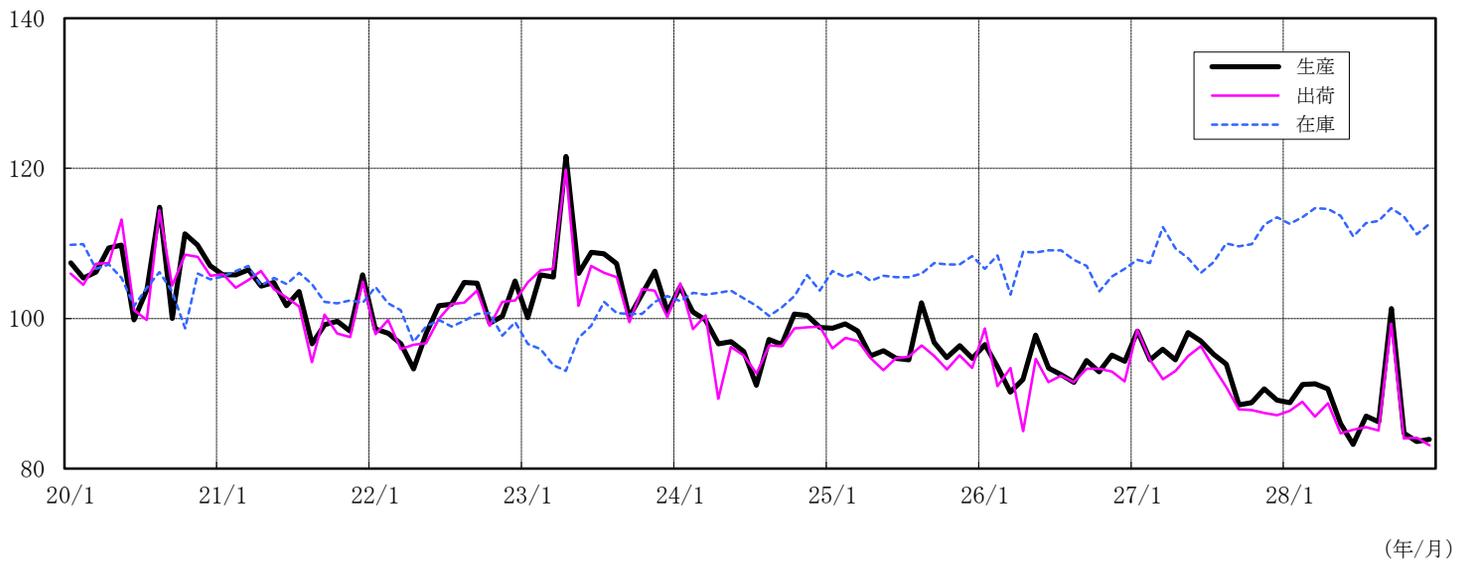
パルプ・紙・紙加工品工業（付加価値額ウェイト=118.1）



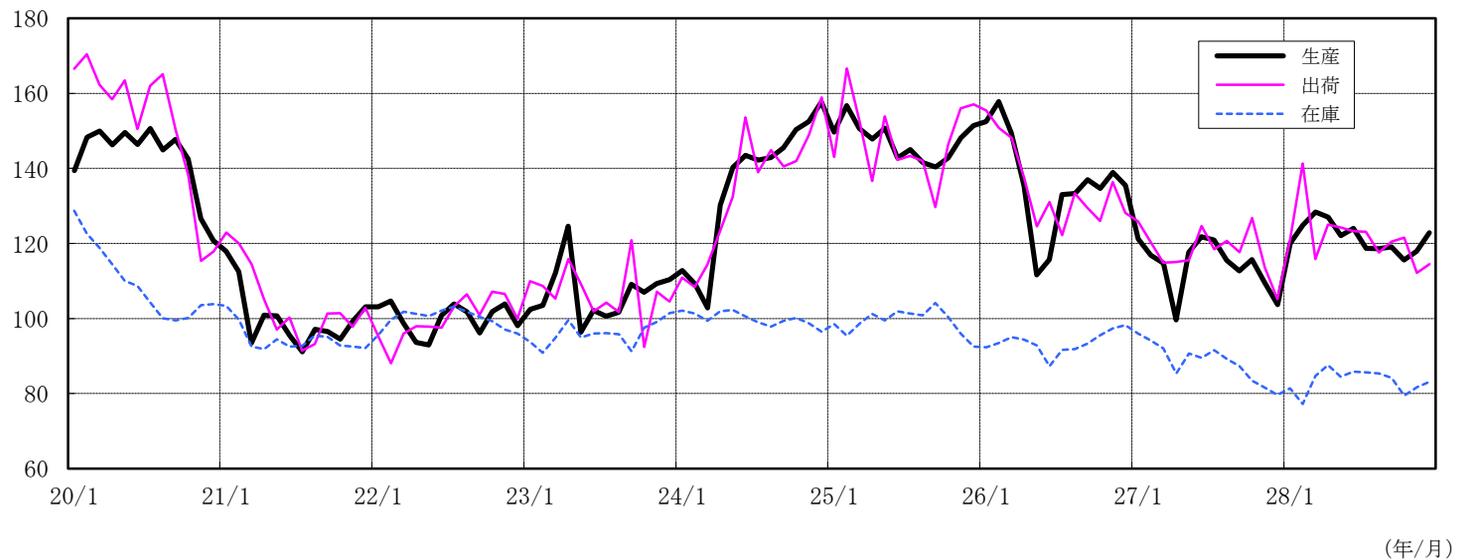
繊維工業（付加価値額ウェイト＝217.7）



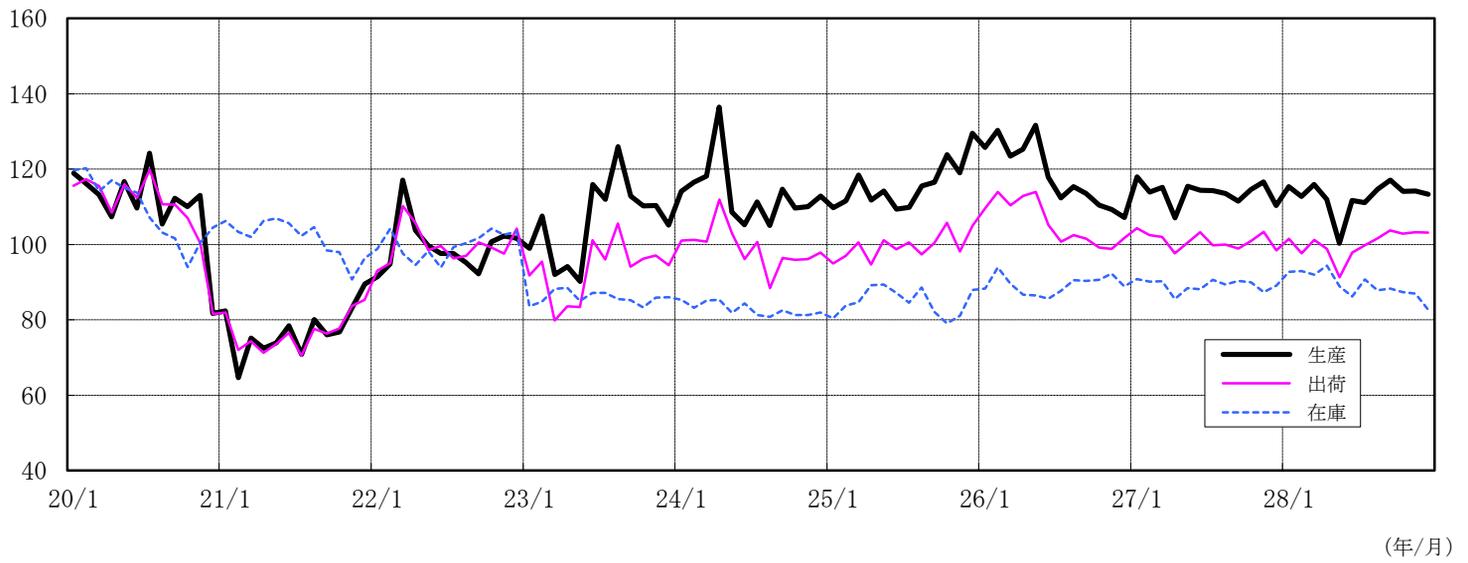
食料品・たばこ工業（付加価値額ウェイト＝357.0）



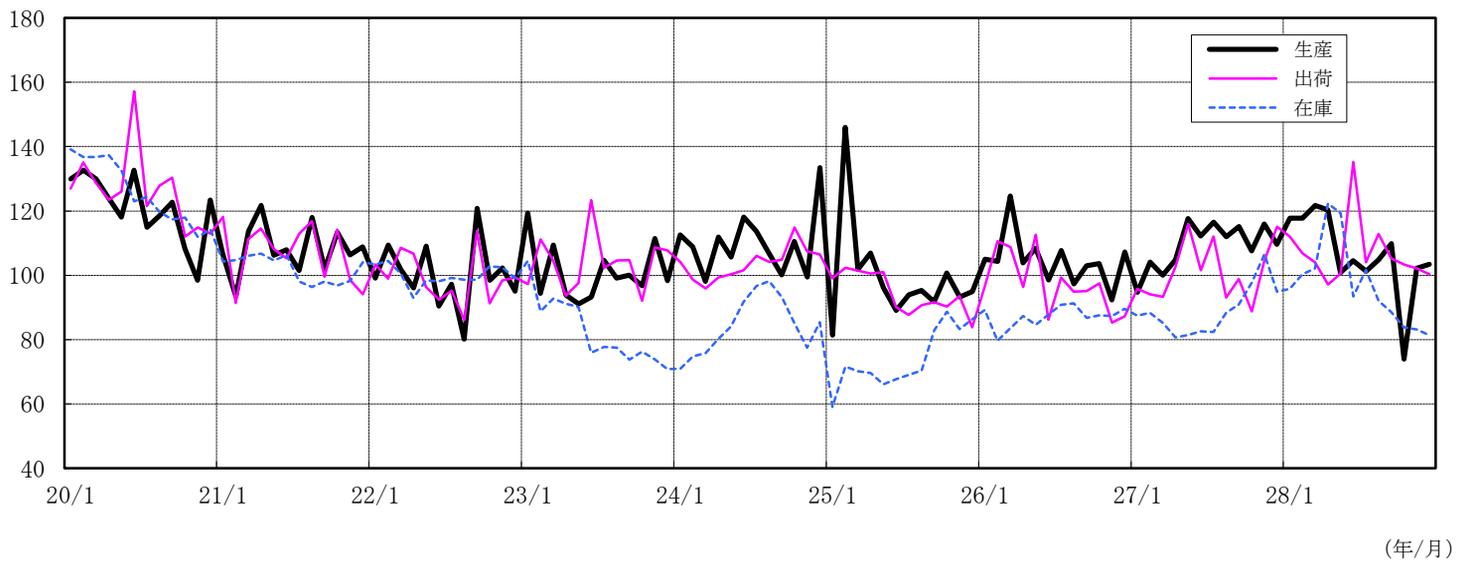
木材・木製品工業（付加価値額ウェイト＝132.8）



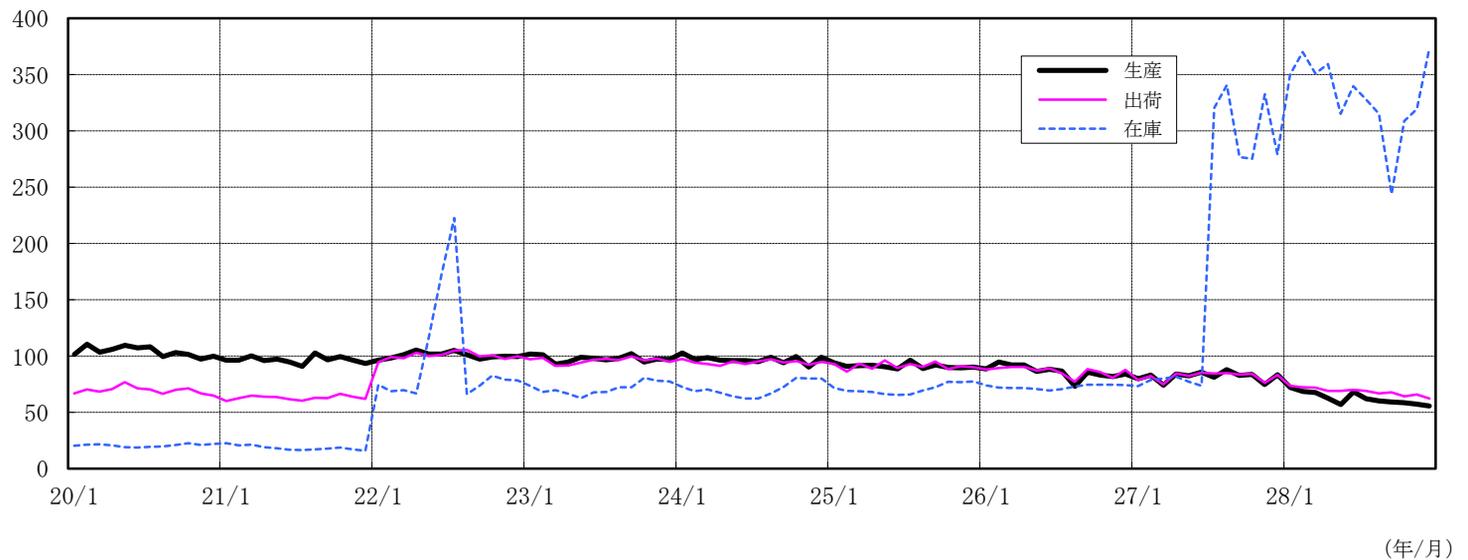
ゴム製品工業（付加価値額ウェイト＝139.2）



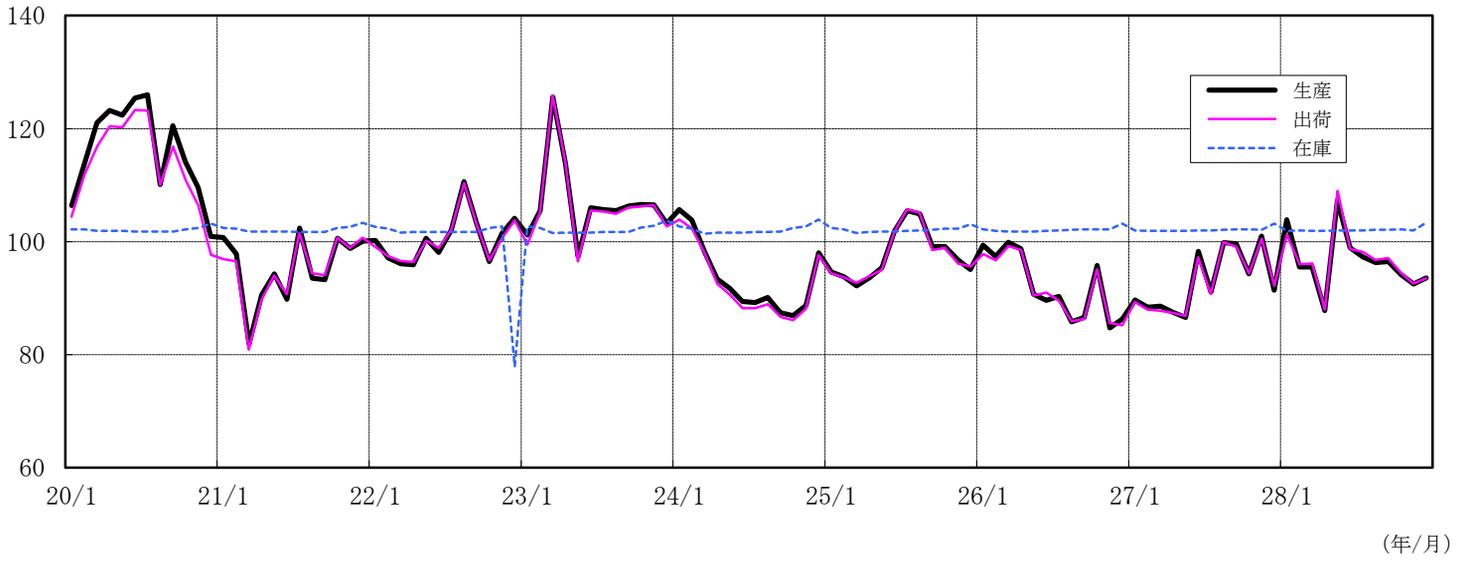
家具工業（付加価値額ウェイト＝57.8）



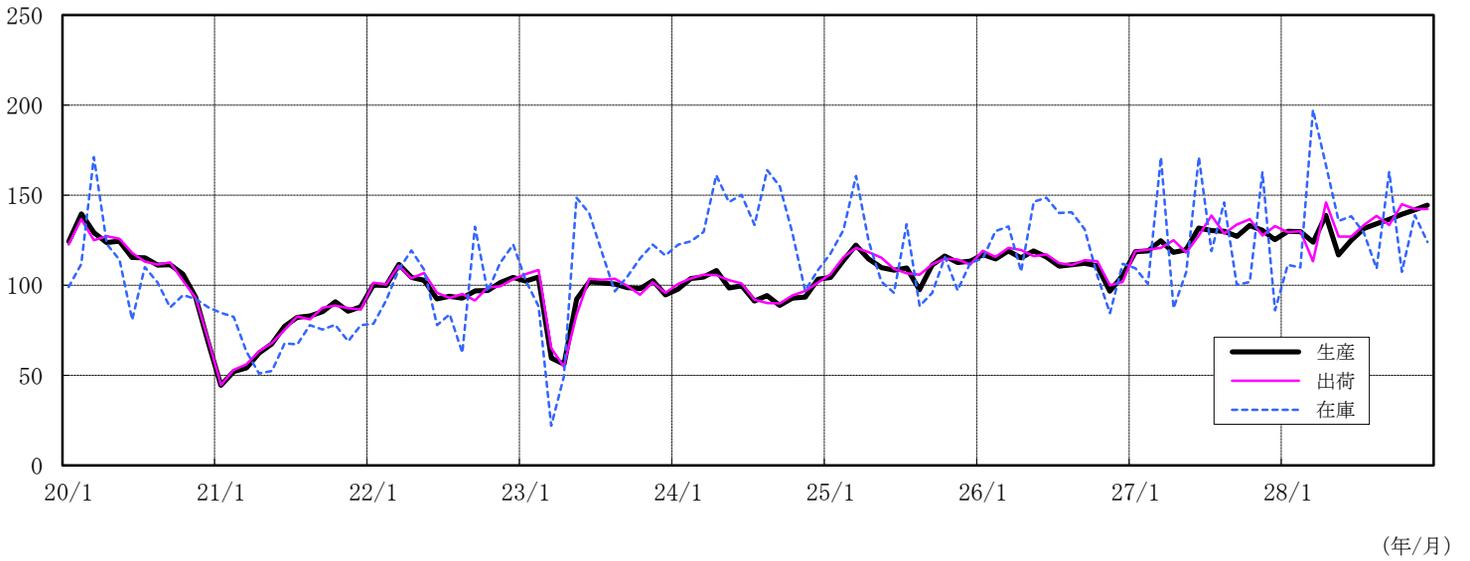
その他製品工業（付加価値額ウェイト＝72.5）



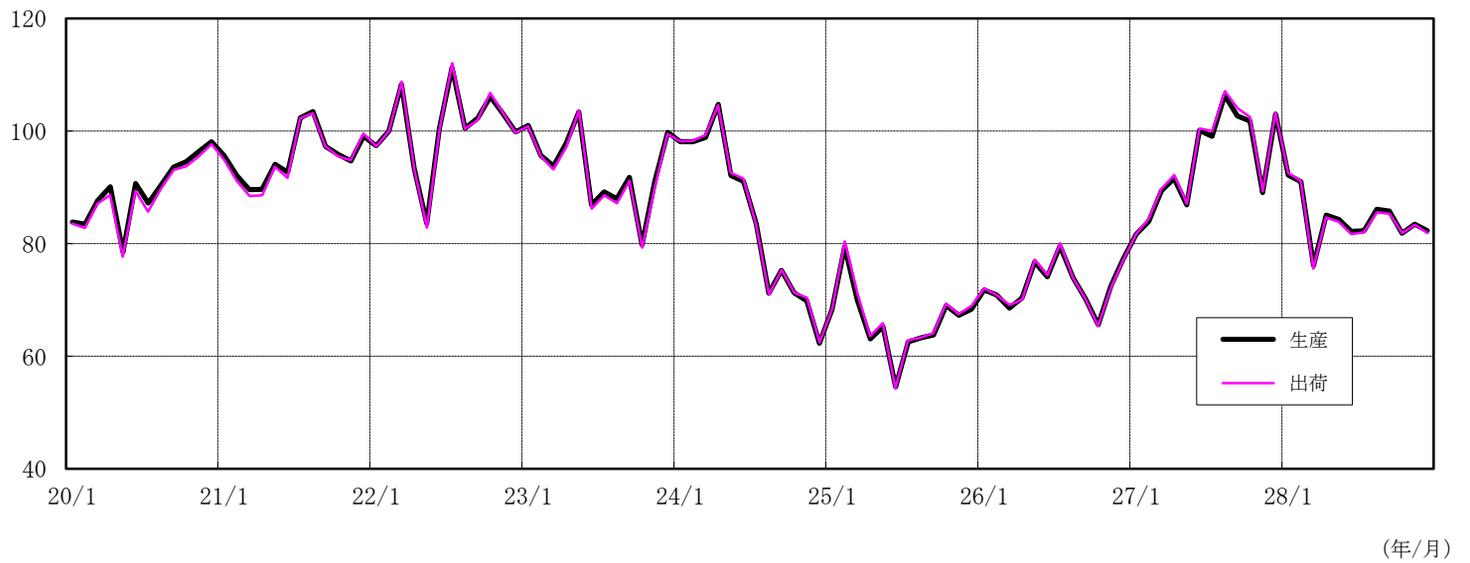
鉱業（付加価値額ウェイト＝1.9）



【参考】自動車部門（付加価値額ウェイト＝2624.8）



【参考】造船部門（付加価値額ウェイト＝871.0）



5 広島県、中国地方及び全国における生産指数の推移

平成 28 年を四半期ごとにみると(図 8), 広島県ではⅡ期は前年同期を下回ったが, Ⅰ期とⅢ期～Ⅳ期は前年同期を上回った。中国地方ではⅠ期とⅣ期は前年同期を上回ったが, Ⅱ期～Ⅲ期は前年同期を下回った。全国ではⅠ期～Ⅱ期は前年同期を下回ったが, Ⅲ期～Ⅳ期は前年同期を上回った。

広島県の前年同期比は, 平成 28 年全期で中国地方の前年同期比を上回った。

図 8-1 広島県の生産指数の前年同期比の推移

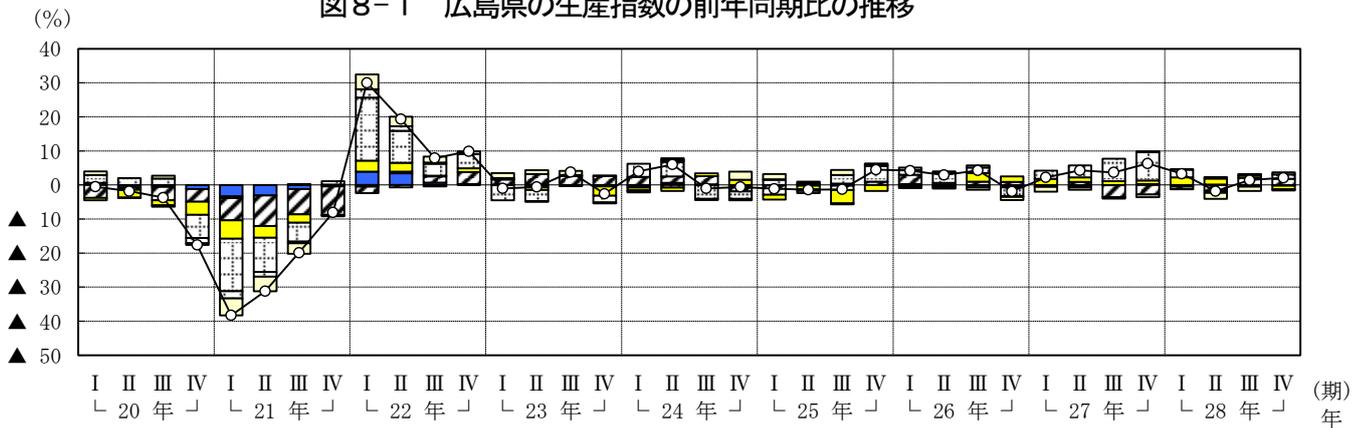


図 8-2 中国地方の生産指数の前年同期比の推移

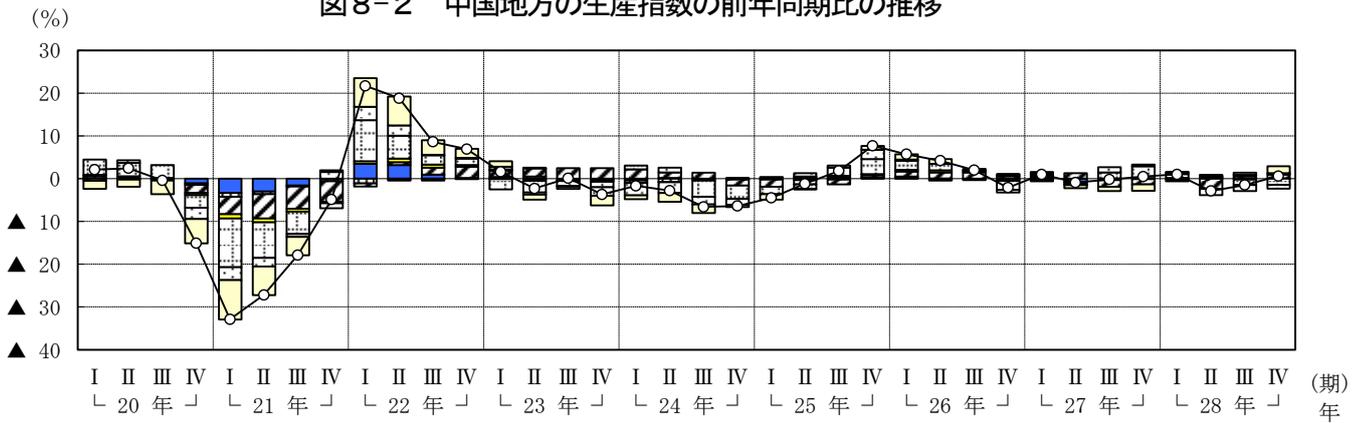
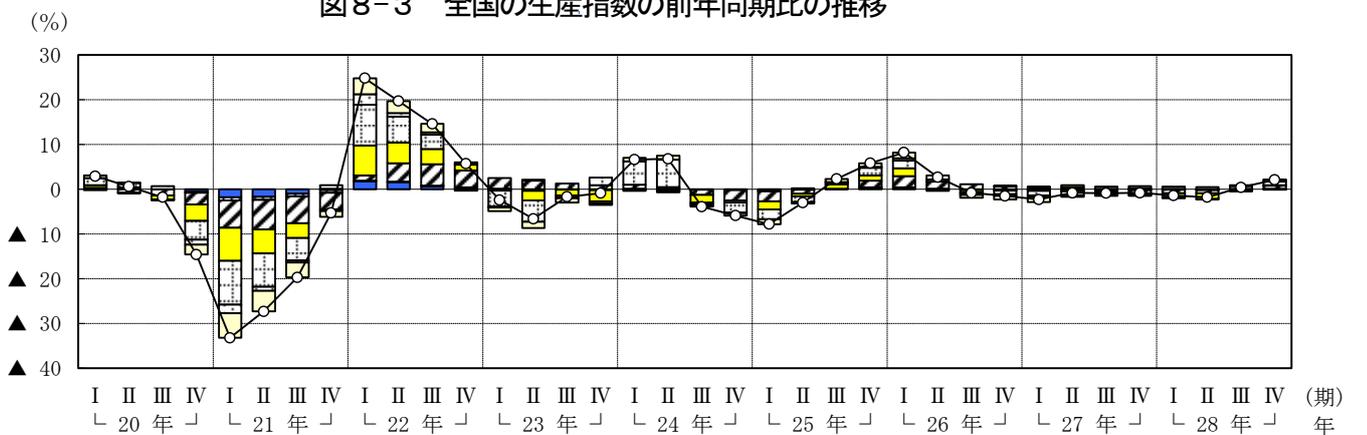


図 8-3 全国の生産指数の前年同期比の推移



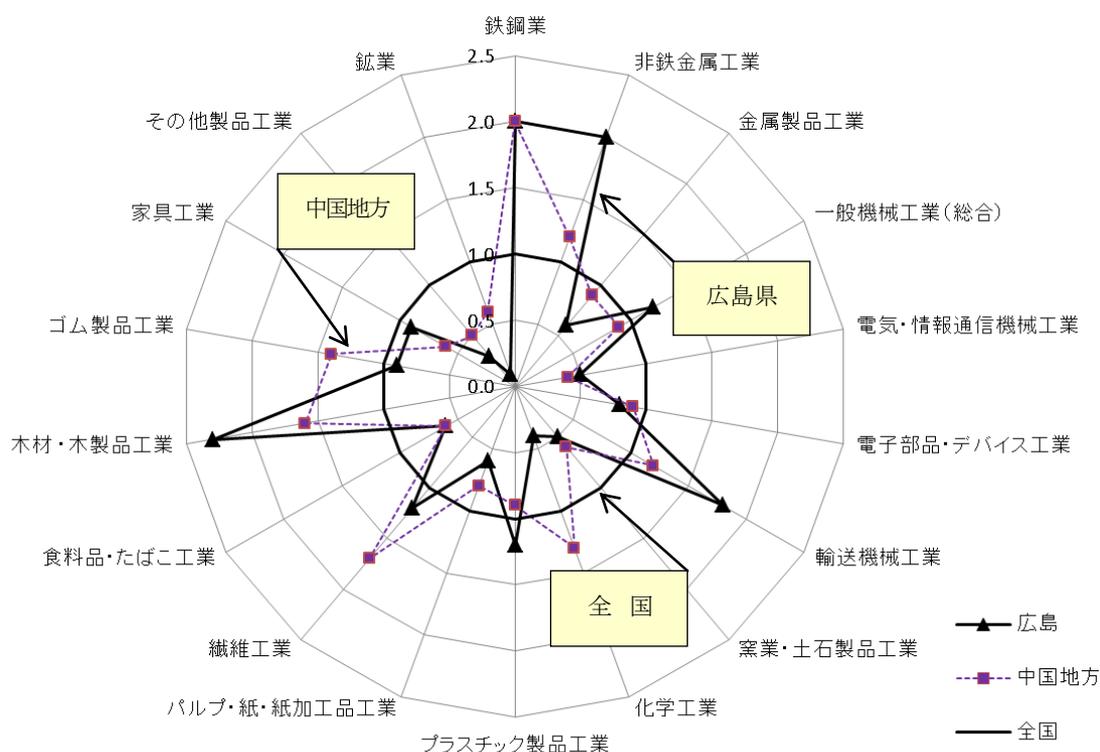
出所: 中国地方…「中国地域鉱工業生産動向」(経済産業省中国経済産業局) 全国…「鉱工業生産・出荷・在庫指数」(経済産業省)

参考 生産指数の付加価値額ウェイト(平成22年基準)について

特化係数^(注)を用いて、広島県の業種のウェイトが、全国や中国地方と比較してどの程度の偏りがあるか見てみると(図9)、全国との比較では、鉄鋼業、非鉄金属工業、輸送機械工業、木材・木製品工業の特化の度合いが大きい一方、金属製品工業、電気・情報通信機械工業、窯業・土石製品工業、化学工業、食料品・たばこ工業、鉱業の特化の度合いが小さい。中国地方との比較では、非鉄金属工業、輸送機械工業、木材・木製品工業の特化の度合いが大きい、金属製品工業、化学工業、繊維工業、ゴム製品工業、鉱業の特化の度合いが小さい。

図9 業種における広島県及び中国地方の特化係数

(各特化係数は、平成22年基準の付加価値額ウェイトにより算出)



生産 (付加価値額) ウェイト	鉄鋼業	非鉄金属 工業	金属製品 工業	一般機械 工業(総合)	電気・情報 通信機械 工業	電子部品・ デバイス 工業	輸送機械 工業	窯業・土石 製品工業	化学工業	プラスチック 製品工業	パルプ・紙・ 紙加工工 業	繊維工業	食料品・ たばこ 工業	木材・ 木製品 工業	ゴム製品 工業	家具工業	その他 製品工業	鉱業
広島	778.5	454.1	241.6	1526.6	589.9	635.9	3467.7	157.0	447.1	604.6	118.1	217.7	357.0	132.8	139.2	57.8	72.5	1.9
中国地方	768.6	268.0	361.1	1118.7	487.3	706.5	2351.6	189.3	1644.2	435.5	163.7	310.4	378.2	93.5	225.0	37.2	120.8	13.3
全国	391.1	232.5	418.1	1273.1	1121.1	818.6	1912.4	315.8	1277.4	507.5	203.6	183.4	613.9	58.4	161.0	67.3	247.9	21.1

(注)特化係数 = 各地域の構成比 ÷ 全国の構成比

特化係数が1を超えると、その地域においてその業種の構成比が全国平均よりも相対的に高いことを表し、特化係数が1を下回ると、その地域においてその業種の構成比が全国平均よりも相対的に低いことを表す。

別表 広島県、中国地方及び全国の生産指数

(平成22年平均=100)

年・期・月	広島県				中国地方				全国			
	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比
平成 20年	/		115.1	▲ 6.0	/		112.0	▲ 2.9	/		110.7	▲ 3.4
21年			86.2	▲ 25.1			88.1	▲ 21.3			86.5	▲ 21.9
22年			100.0	16.0			100.0	13.5			100.0	15.6
23年			99.9	▲ 0.1			98.9	▲ 1.1			97.2	▲ 2.8
24年			101.9	2.0			94.6	▲ 4.3			97.8	0.6
25年			102.1	0.2			95.4	0.8			97.0	▲ 0.8
26年			104.5	2.4			97.7	2.4			99.0	2.1
27年			108.7	4.0			97.8	0.1			97.8	▲ 1.2
28年			110.1	1.3			97.1	▲ 0.7			97.7	▲ 0.1
平成 20年 I 期	122.4	▲ 2.9	124.2	▲ 0.5	116.9	▲ 0.8	118.8	2.1	116.8	0.3	116.9	2.9
II 期	120.2	▲ 1.8	116.8	▲ 1.8	116.7	▲ 0.2	113.7	2.4	114.8	▲ 1.7	111.9	0.6
III 期	114.8	▲ 4.5	117.0	▲ 3.7	113.8	▲ 2.5	114.4	▲ 0.4	110.5	▲ 3.7	112.0	▲ 1.8
IV 期	102.0	▲ 11.1	102.5	▲ 17.6	99.5	▲ 12.6	101.1	▲ 15.1	99.8	▲ 9.7	102.0	▲ 14.6
21年 I 期	76.5	▲ 25.0	76.6	▲ 38.3	79.9	▲ 19.7	79.7	▲ 32.9	79.3	▲ 20.5	78.1	▲ 33.2
II 期	83.1	8.6	80.4	▲ 31.2	84.9	6.3	82.8	▲ 27.2	83.5	5.3	81.4	▲ 27.3
III 期	91.6	10.2	93.7	▲ 19.9	93.1	9.7	93.9	▲ 17.9	88.6	6.1	89.9	▲ 19.7
IV 期	93.8	2.4	94.2	▲ 8.1	94.6	1.6	96.1	▲ 4.9	94.9	7.1	96.6	▲ 5.3
22年 I 期	100.1	6.7	99.6	30.0	97.5	3.1	97.0	21.7	98.8	4.1	97.5	24.8
II 期	99.2	▲ 0.9	95.9	19.3	100.8	3.4	98.4	18.8	99.8	1.0	97.4	19.7
III 期	98.1	▲ 1.1	101.1	7.9	100.6	▲ 0.2	102.0	8.6	101.1	1.3	103.0	14.6
IV 期	103.2	5.2	103.5	9.9	101.3	0.7	102.7	6.9	100.7	▲ 0.4	102.1	5.7
23年 I 期	99.7	▲ 3.4	98.6	▲ 1.0	99.6	▲ 1.7	98.6	1.6	96.9	▲ 3.8	95.2	▲ 2.4
II 期	98.1	▲ 1.6	95.3	▲ 0.6	98.2	▲ 1.4	96.1	▲ 2.3	92.9	▲ 4.1	91.0	▲ 6.6
III 期	102.0	4.0	104.9	3.8	100.5	2.3	102.1	0.1	99.5	7.1	101.3	▲ 1.7
IV 期	100.8	▲ 1.2	100.8	▲ 2.6	98.0	▲ 2.5	98.9	▲ 3.7	100.5	1.0	101.2	▲ 0.9
24年 I 期	101.7	0.9	102.5	4.0	96.3	▲ 1.7	96.9	▲ 1.7	101.3	0.8	101.5	6.6
II 期	103.6	1.9	101.0	6.0	95.1	▲ 1.2	93.4	▲ 2.8	99.1	▲ 2.2	97.2	6.8
III 期	101.1	▲ 2.4	103.9	▲ 1.0	94.0	▲ 1.2	95.4	▲ 6.6	95.9	▲ 3.2	97.3	▲ 3.9
IV 期	99.7	▲ 1.4	100.2	▲ 0.6	92.5	▲ 1.6	92.6	▲ 6.4	94.1	▲ 1.9	95.2	▲ 5.9
25年 I 期	101.8	2.1	101.4	▲ 1.1	93.2	0.8	92.5	▲ 4.5	94.6	0.5	93.6	▲ 7.8
II 期	102.0	0.2	99.6	▲ 1.4	94.1	1.0	92.3	▲ 1.2	96.1	1.6	94.3	▲ 3.0
III 期	100.4	▲ 1.6	102.5	▲ 1.3	95.9	1.9	97.1	1.8	97.8	1.8	99.5	2.3
IV 期	104.3	3.9	104.7	4.5	98.5	2.7	99.7	7.7	99.6	1.8	100.7	5.8
26年 I 期	105.9	1.5	105.7	4.2	98.9	0.4	97.9	5.8	101.9	2.3	101.3	8.2
II 期	105.0	▲ 0.8	102.5	2.9	98.2	▲ 0.7	96.1	4.1	98.8	▲ 3.0	96.8	2.7
III 期	104.8	▲ 0.2	106.9	4.3	97.3	▲ 0.9	99.1	2.1	97.4	▲ 1.4	98.7	▲ 0.8
IV 期	102.4	▲ 2.3	102.7	▲ 1.9	96.9	▲ 0.4	97.9	▲ 1.8	98.2	0.8	99.2	▲ 1.5
27年 I 期	108.4	5.9	108.0	2.2	99.6	2.8	98.8	0.9	99.3	1.1	99.0	▲ 2.3
II 期	109.0	0.6	106.9	4.3	97.8	▲ 1.8	95.3	▲ 0.8	98.0	▲ 1.3	96.0	▲ 0.8
III 期	108.8	▲ 0.2	110.9	3.7	97.1	▲ 0.7	98.8	▲ 0.3	97.0	▲ 1.0	97.8	▲ 0.9
IV 期	108.7	▲ 0.1	109.2	6.3	96.9	▲ 0.2	98.1	0.2	97.1	0.1	98.4	▲ 0.8
28年 I 期	109.9	1.1	111.6	3.3	98.3	1.4	99.8	1.0	96.2	▲ 0.9	97.6	▲ 1.4
II 期	107.9	▲ 1.8	105.0	▲ 1.8	95.1	▲ 3.3	92.5	▲ 2.9	96.5	0.3	94.3	▲ 1.8
III 期	111.2	3.1	112.4	1.4	96.6	1.6	97.3	▲ 1.5	98.0	1.6	98.2	0.4
IV 期	112.6	1.3	111.5	2.1	98.4	1.9	98.7	0.6	99.8	1.8	100.5	2.1
平成 20年 1月	121.7	▲ 4.8	113.2	▲ 2.7	116.0	▲ 2.6	111.5	▲ 0.2	117.0	0.5	108.5	3.2
2月	125.2	2.9	124.0	8.6	117.7	1.5	118.7	7.9	117.3	0.3	117.0	5.9
3月	120.3	▲ 3.9	135.3	▲ 5.9	116.9	▲ 0.7	126.1	▲ 1.1	116.2	▲ 0.9	125.3	0.2
4月	123.0	2.2	116.0	▲ 0.2	118.1	1.0	114.2	3.9	115.5	▲ 0.6	111.0	1.6
5月	117.7	▲ 4.3	110.7	▲ 5.7	117.0	▲ 0.9	110.7	1.2	116.1	0.5	108.7	0.6
6月	119.9	1.9	123.8	0.6	115.1	▲ 1.6	116.1	2.2	112.9	▲ 2.8	115.9	▲ 0.3
7月	116.6	▲ 2.8	123.5	▲ 1.0	115.5	0.3	119.5	2.0	112.7	▲ 0.2	117.9	2.3
8月	116.1	▲ 0.4	108.2	▲ 6.1	113.6	▲ 1.6	107.7	▲ 2.9	108.7	▲ 3.5	101.2	▲ 7.8

(平成22年平均=100)

年 月	広 島 県				中 国 地 方				全 国			
	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比
平成20年 9月	111.8	▲ 3.7	119.3	▲ 4.3	112.2	▲ 1.2	116.1	▲ 0.4	110.0	1.2	116.9	0.0
10月	113.5	1.5	114.6	▲ 6.4	110.7	▲ 1.3	111.1	▲ 4.6	107.4	▲ 2.4	111.7	▲ 7.7
11月	103.9	▲ 8.5	103.4	▲ 16.7	97.8	▲ 11.7	98.3	▲ 17.5	100.2	▲ 6.7	100.6	▲ 16.6
12月	88.5	▲ 14.8	89.4	▲ 29.4	89.9	▲ 8.1	94.0	▲ 22.8	91.9	▲ 8.3	93.7	▲ 19.9
平成21年 1月	72.8	▲ 17.7	67.4	▲ 40.5	78.0	▲ 13.2	74.4	▲ 33.3	83.8	▲ 8.8	76.6	▲ 29.4
2月	74.6	2.5	70.7	▲ 43.0	79.9	2.4	76.7	▲ 35.4	76.6	▲ 8.6	73.5	▲ 37.2
3月	82.0	9.9	91.8	▲ 32.2	81.8	2.4	88.1	▲ 30.1	77.6	1.3	84.3	▲ 32.7
4月	78.9	▲ 3.8	74.1	▲ 36.1	83.0	1.5	80.0	▲ 29.9	81.0	4.4	77.7	▲ 30.0
5月	87.1	10.4	80.3	▲ 27.5	85.7	3.3	80.6	▲ 27.2	84.0	3.7	77.3	▲ 28.9
6月	83.4	▲ 4.2	86.7	▲ 30.0	86.1	0.5	87.7	▲ 24.5	85.6	1.9	89.3	▲ 23.0
7月	92.1	10.4	98.2	▲ 20.5	93.5	8.6	97.4	▲ 18.5	86.7	1.3	91.3	▲ 22.6
8月	89.5	▲ 2.8	84.1	▲ 22.3	91.4	▲ 2.2	87.0	▲ 19.2	88.0	1.5	82.3	▲ 18.7
9月	93.2	4.1	98.9	▲ 17.1	94.4	3.3	97.4	▲ 16.1	91.0	3.4	96.1	▲ 17.8
10月	95.1	2.0	95.1	▲ 17.0	96.6	2.3	96.5	▲ 13.1	93.3	2.5	95.7	▲ 14.3
11月	92.9	▲ 2.3	93.5	▲ 9.6	94.4	▲ 2.3	95.3	▲ 3.1	95.3	2.1	96.6	▲ 4.0
12月	93.4	0.5	94.1	5.3	92.8	▲ 1.7	96.5	2.7	96.1	0.8	97.6	4.2
平成22年 1月	98.6	5.6	90.8	34.7	97.3	4.8	92.1	23.8	98.5	2.5	88.8	15.9
2月	101.0	2.4	95.2	34.7	97.3	0.0	93.1	21.4	98.9	0.4	94.7	28.8
3月	100.8	▲ 0.2	112.7	22.8	97.9	0.6	105.7	20.0	99.1	0.2	108.9	29.2
4月	101.8	1.0	95.3	28.6	100.8	3.0	96.8	21.0	100.2	1.1	96.2	23.8
5月	99.8	▲ 2.0	92.0	14.6	101.3	0.5	95.4	18.4	100.0	▲ 0.2	92.1	19.1
6月	96.1	▲ 3.7	100.3	15.7	100.4	▲ 0.9	102.9	17.3	99.2	▲ 0.8	103.9	16.3
7月	98.9	2.9	104.9	6.8	101.9	1.5	106.0	8.8	100.3	1.1	104.8	14.8
8月	96.1	▲ 2.8	91.6	8.9	99.9	▲ 2.0	96.1	10.5	100.7	0.4	95.7	16.3
9月	99.4	3.4	106.8	8.0	100.0	0.1	103.8	6.6	102.3	1.6	108.4	12.8
10月	100.2	0.8	99.2	4.3	99.6	▲ 0.4	99.1	2.7	99.4	▲ 2.8	100.3	4.8
11月	104.9	4.7	106.1	13.5	102.4	2.8	103.6	8.7	101.0	1.6	103.2	6.8
12月	104.5	▲ 0.4	105.1	11.7	102.0	▲ 0.4	105.4	9.2	101.6	0.6	102.9	5.4
平成23年 1月	104.9	0.4	97.8	7.7	102.3	0.3	96.9	5.2	102.1	0.5	92.7	4.4
2月	106.2	1.2	100.1	5.1	102.3	0.0	97.5	4.7	102.7	0.6	98.5	4.0
3月	87.9	▲ 17.2	97.8	▲ 13.2	94.1	▲ 8.0	101.5	▲ 4.0	85.8	▲ 16.5	94.4	▲ 13.3
4月	90.8	3.3	84.7	▲ 11.1	95.1	1.1	90.8	▲ 6.2	87.6	2.1	83.3	▲ 13.4
5月	100.0	10.1	92.5	0.5	98.8	3.9	93.6	▲ 1.9	93.6	6.8	87.4	▲ 5.1
6月	103.6	3.6	108.8	8.5	100.7	1.9	103.9	1.0	97.5	4.2	102.4	▲ 1.4
7月	101.5	▲ 2.0	106.6	1.6	100.0	▲ 0.7	103.8	▲ 2.1	98.7	1.2	102.1	▲ 2.6
8月	103.0	1.5	99.4	8.5	101.0	1.0	98.1	2.1	100.4	1.7	96.7	1.0
9月	101.5	▲ 1.5	108.8	1.9	100.6	▲ 0.4	104.3	0.5	99.5	▲ 0.9	105.1	▲ 3.0
10月	100.2	▲ 1.3	98.7	▲ 0.5	98.7	▲ 1.9	98.3	▲ 0.8	101.3	1.8	101.8	1.5
11月	101.1	0.9	102.1	▲ 3.8	98.0	▲ 0.7	98.8	▲ 4.6	99.1	▲ 2.2	100.7	▲ 2.4
12月	101.2	0.1	101.5	▲ 3.4	97.3	▲ 0.7	99.6	▲ 5.5	101.1	2.0	101.0	▲ 1.8
平成24年 1月	101.5	0.3	94.3	▲ 3.6	96.0	▲ 1.3	90.7	▲ 6.4	101.5	0.4	92.8	0.1
2月	101.2	▲ 0.3	100.4	0.3	98.9	0.4	96.5	▲ 1.0	101.3	▲ 0.2	101.5	3.0
3月	102.3	1.1	112.9	15.4	98.2	▲ 0.7	103.6	2.1	101.1	▲ 0.2	110.1	16.6
4月	104.9	2.5	98.1	15.8	97.3	▲ 0.9	91.6	0.9	100.6	▲ 0.5	95.9	15.1
5月	100.9	▲ 3.8	94.8	2.5	96.9	▲ 0.4	90.2	▲ 3.6	98.8	▲ 1.8	94.0	7.6
6月	105.0	4.1	110.2	1.3	95.3	1.2	98.3	▲ 5.4	98.0	▲ 0.8	101.8	▲ 0.6
7月	99.6	▲ 5.1	104.8	▲ 1.7	93.2	▲ 2.2	97.3	▲ 6.3	97.5	▲ 0.5	102.2	0.1
8月	103.9	4.3	100.6	1.2	96.5	3.5	94.0	▲ 4.2	96.1	▲ 1.4	92.7	▲ 4.1
9月	99.8	▲ 3.9	106.4	▲ 2.2	92.2	▲ 4.5	94.9	▲ 9.0	94.0	▲ 2.2	97.1	▲ 7.6
10月	99.2	▲ 0.6	98.5	▲ 0.2	94.0	2.0	91.8	▲ 6.6	94.3	0.3	97.0	▲ 4.7
11月	98.7	▲ 0.5	100.7	▲ 1.4	91.7	▲ 2.4	92.7	▲ 6.2	93.4	▲ 1.0	95.2	▲ 5.5
12月	101.3	2.6	101.3	▲ 0.2	91.8	0.1	93.2	▲ 6.4	94.7	1.4	93.3	▲ 7.6
平成25年 1月	100.5	▲ 0.8	93.5	▲ 0.8	92.6	0.9	88.0	▲ 3.0	94.0	▲ 0.7	86.9	▲ 6.4
2月	103.4	2.9	99.6	▲ 0.8	93.9	1.4	90.4	▲ 6.3	94.8	0.9	91.4	▲ 10.0

(平成22年平均=100)

年 月	広 島 県				中 国 地 方				全 国			
	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比
平成25年 3月	101.6	▲ 1.7	111.2	▲ 1.5	93.2	▲ 0.7	99.1	▲ 4.3	95.1	0.3	102.4	▲ 7.0
4月	103.7	2.1	99.0	0.9	96.2	3.2	92.9	1.4	95.7	0.6	92.8	▲ 3.2
5月	103.6	▲ 0.1	97.8	3.2	95.0	▲ 1.2	91.1	1.0	97.7	2.1	93.1	▲ 1.0
6月	98.7	▲ 4.7	102.1	▲ 7.4	91.0	▲ 4.2	92.9	▲ 5.5	95.0	▲ 2.8	97.0	▲ 4.7
7月	104.7	6.1	112.2	7.1	97.9	7.6	102.9	5.8	97.6	2.7	104.1	1.9
8月	97.7	▲ 6.7	92.4	▲ 8.2	94.5	▲ 3.5	90.7	▲ 3.5	97.1	▲ 0.5	92.1	▲ 0.6
9月	98.7	1.0	103.0	▲ 3.2	95.4	1.0	97.8	3.1	98.6	1.5	102.2	5.3
10月	108.6	10.0	107.9	9.5	100.1	4.9	100.5	9.5	99.2	0.6	102.2	5.4
11月	103.3	▲ 4.9	104.9	4.2	98.7	▲ 1.4	100.4	8.3	99.5	0.3	99.8	4.8
12月	100.9	▲ 2.3	101.3	0.0	96.7	▲ 2.0	98.3	5.5	100.0	0.5	100.0	7.2
平成26年 1月	107.3	6.3	100.7	7.7	100.6	4.0	96.2	9.3	103.2	3.2	96.2	10.7
2月	105.8	▲ 1.4	102.4	2.8	98.2	▲ 2.4	94.2	4.2	101.0	▲ 2.1	97.8	7.0
3月	104.7	▲ 1.0	114.1	2.6	97.9	▲ 0.3	103.4	4.3	101.5	0.5	110.0	7.4
4月	103.5	▲ 1.1	98.5	▲ 0.5	97.1	▲ 0.8	94.0	1.2	99.2	▲ 2.3	96.2	3.7
5月	107.7	4.1	101.5	3.8	100.3	3.3	95.9	5.3	99.5	0.3	94.0	1.0
6月	103.7	▲ 3.7	107.4	5.2	97.3	▲ 3.0	98.3	5.8	97.6	▲ 1.9	100.1	3.2
7月	104.4	0.7	112.5	0.3	98.4	1.1	105.2	2.2	97.5	▲ 0.1	103.6	▲ 0.5
8月	104.0	▲ 0.4	96.3	4.2	98.3	▲ 0.1	94.1	3.7	96.7	▲ 0.8	89.3	▲ 3.0
9月	106.1	2.0	112.0	8.7	95.3	▲ 3.1	97.9	0.1	98.1	1.4	103.2	1.0
10月	105.6	▲ 0.5	108.1	0.2	97.9	2.7	99.9	▲ 0.6	98.5	0.4	101.7	▲ 0.5
11月	98.4	▲ 6.8	96.4	▲ 8.1	95.1	▲ 2.9	93.6	▲ 6.8	97.9	▲ 0.6	96.1	▲ 3.7
12月	103.3	5.0	103.7	2.4	97.7	2.7	100.2	1.9	98.1	0.2	99.9	▲ 0.1
平成27年 1月	111.2	7.6	103.1	2.4	102.6	5.0	97.4	1.2	100.9	2.9	93.7	▲ 2.6
2月	107.9	▲ 3.0	105.0	2.5	98.3	▲ 4.2	94.4	0.2	98.7	▲ 2.2	95.5	▲ 2.4
3月	106.1	▲ 1.7	115.9	1.6	97.8	▲ 0.5	104.5	1.1	98.2	▲ 0.5	107.8	▲ 2.0
4月	108.1	1.9	102.8	4.4	97.8	0.0	94.6	0.6	98.9	0.7	96.0	▲ 0.2
5月	106.7	▲ 1.3	99.5	▲ 2.0	97.3	▲ 0.5	91.1	▲ 5.0	96.7	▲ 2.2	89.8	▲ 4.5
6月	112.1	5.1	118.3	10.1	98.2	0.9	100.1	1.8	98.3	1.7	102.2	2.1
7月	109.3	▲ 2.5	118.4	5.2	96.7	▲ 1.5	103.2	▲ 1.9	97.4	▲ 0.9	103.0	▲ 0.6
8月	109.2	▲ 0.1	100.5	4.4	96.8	0.1	92.1	▲ 2.1	96.7	▲ 0.7	88.5	▲ 0.9
9月	108.0	▲ 1.1	113.7	1.5	97.9	1.1	101.2	3.4	97.0	0.3	102.0	▲ 1.2
10月	110.3	2.1	112.9	4.4	96.9	▲ 1.0	97.9	▲ 2.0	98.2	1.2	100.1	▲ 1.6
11月	107.9	▲ 2.2	107.7	11.7	96.8	▲ 0.1	97.3	4.0	97.1	▲ 1.1	97.4	1.4
12月	107.9	0.0	106.9	3.1	96.9	0.1	99.2	▲ 1.0	95.9	▲ 1.2	97.8	▲ 2.1
平成28年 1月	110.7	2.6	105.6	2.4	99.1	2.3	96.3	▲ 1.1	97.0	1.1	90.2	▲ 3.7
2月	110.7	0.0	111.3	6.0	98.0	▲ 1.1	97.5	3.3	95.3	▲ 1.8	94.5	▲ 1.0
3月	108.2	▲ 2.3	118.0	1.8	97.7	▲ 0.3	105.7	1.1	96.4	1.2	108.2	0.4
4月	110.9	2.5	105.2	2.3	98.3	0.6	94.5	▲ 0.1	96.8	0.4	92.9	▲ 3.2
5月	103.4	▲ 6.8	96.9	▲ 2.6	91.8	▲ 6.6	86.9	▲ 4.6	95.6	▲ 1.2	89.3	▲ 0.6
6月	109.4	5.8	112.8	▲ 4.6	95.2	3.7	96.2	▲ 3.9	97.0	1.5	100.6	▲ 1.6
7月	110.2	0.7	115.2	▲ 2.7	95.5	0.3	98.7	▲ 4.4	97.0	0.0	98.7	▲ 4.2
8月	112.4	2.0	105.6	5.1	97.1	1.7	93.6	1.6	98.3	1.3	92.5	4.5
9月	111.0	▲ 1.2	116.4	2.4	97.1	0.0	99.6	▲ 1.6	98.6	0.3	103.5	1.5
10月	111.7	0.6	112.3	▲ 0.5	96.7	▲ 0.4	95.7	▲ 2.2	98.9	0.3	98.9	▲ 1.2
11月	112.6	0.8	112.0	4.0	98.9	2.3	99.4	2.2	99.9	1.0	101.7	4.4
12月	113.6	0.9	110.2	3.1	99.5	0.6	100.9	1.7	100.6	0.7	100.8	3.1

出所：中国地方 … 「中国地域鉱工業生産動向」 (経済産業省中国経済産業局)

全 国 … 「鉱工業生産・出荷・在庫指数」 (経済産業省)